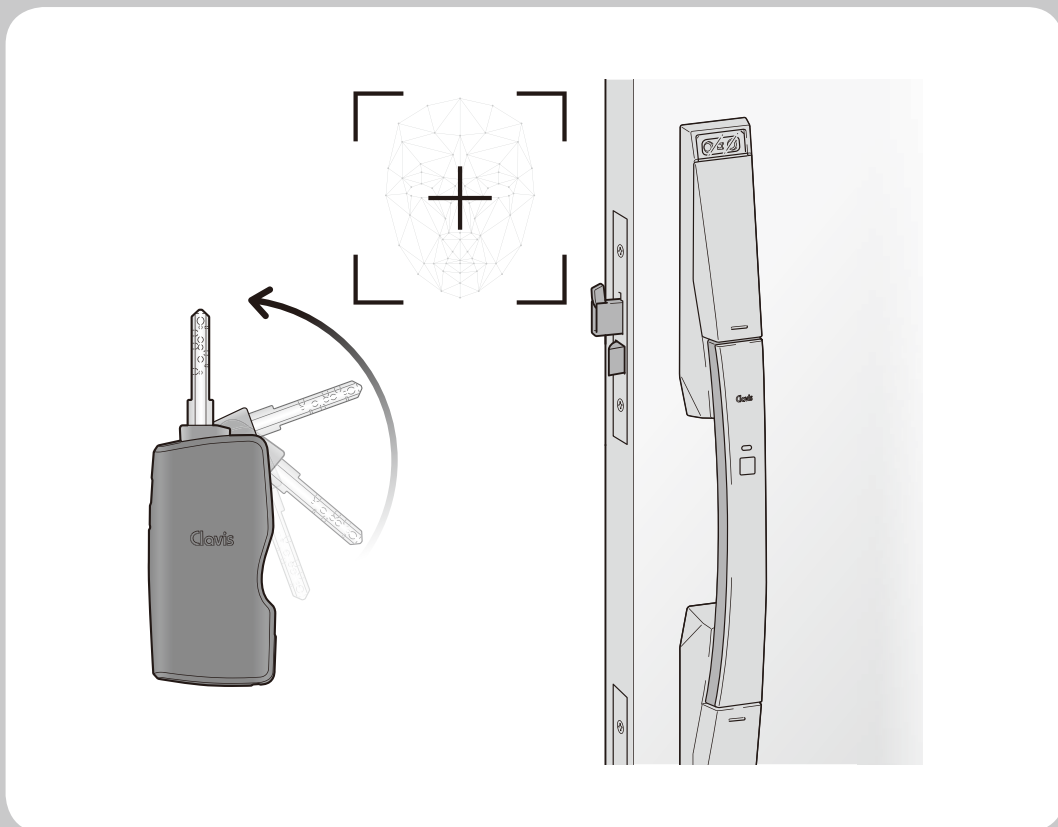


顔認証システム(ハンドル一体型)

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

<https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm>



目次

	ページ	
お使いになる前に	■ 重要なお知らせ	1
	■ 警告用語の種類と意味	1
	■ 特に注意していただきたいこと	2
	■ 各部の名称	6
	■ Tebra キーについて	9
	■ TL キーについて	10
	■ 顔認証について	11
	■ 顔認証登録および認証時のご注意	12
	■ 各認証方法について	13
	■ 解錠アシスト機能について	14
	■ 連動施錠機能について	14
	■ 自動施錠機能について	15
	■ 閉め忘れ防止機能について	16
使用方法	■ 認証キーの登録方法	17
	■ ダブル認証による FACE キーでの施解錠をしたい方	18
	■ シングル認証による Tebra キー / TL キーでの施解錠をしたい方	22
	■ シングル認証による FACE キーでの施解錠をしたい方	25
	■ Tebra/TL キー・FACE キー登録時のリーダー部とブザーの報知情報	29
	■ 登録時のエラー内容と対処方法	30
	■ 手動による施解錠方法	31
	■ FACE キーによる施錠／解錠【ダブル認証】	32
	■ Tebra キーによる施錠／解錠【シングル認証】	33
	■ TL キーによる施錠／解錠【シングル認証】	34
	■ FACE キーによる施錠／解錠【シングル認証】	35
	■ 操作電源盤操作による施錠／解錠	37
	■ 機能の設定変更方法	38
■ 認証キーの抹消方法	41	
■ Tebra キーの電池交換／カラーチップの取付け	42	
お困りのときは	■ 故障かな？と思ったら	45
	■ 停電で作動しない場合	49
	■ 認証キーを紛失した場合	49
その他	■ 盗難・悪用防止のために	50
	■ お手入れ方法	50
	■ 商品仕様	51
	■ アフターメンテナンスについて	52
	■ 商品保証について	53



重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のため、必ずお守りください。



「顔認証システム（ハンドルー体型）」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。もしこの取扱い説明書にしたがわず、乱用または誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、株式会社 LIXIL およびその販売会社に責任はないものといたします。

1. この取扱い説明書に記載してある注意事項が、すべての危険を含んでいるわけではありません。したがって、「顔認証システム（ハンドルー体型）」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
3. この取扱い説明書についての質問またはより詳しい情報が必要な場合は、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	 0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では「顔認証システム（ハンドルー体型）」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。この「取扱い説明書」では、危険度（または事故の大きさ）にしたがって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

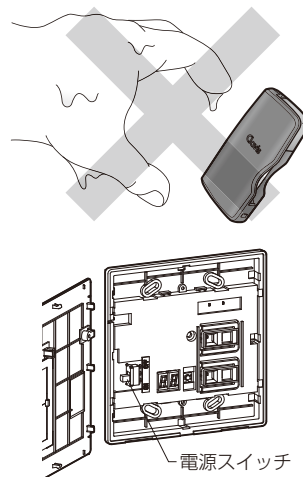
警告用語	意味
	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または、重傷を負う危険が想定されます。
	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

警告

- 認証キーや小型の電池は乳幼児の手の届く所に置かないでください。電池を飲み込んだ場合は直ちに取出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し、指示を受けてください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合は死に至るおそれがあります。
- 植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着されている方が使用する場合は、リーダ部（6 ページ）から植込み型医療機器の装着部位を 22cm 以上離して使用してください。医療機器の正常な作動を損なうおそれがあります。また、電波による医療用電気機器への影響については、担当医師や医療用電気機器製造業者などにご確認ください。
- AC アダプターの使用時は次の内容をお守りください。感電・火災のおそれがあります。
 - ・ 傷んだ電源プラグやコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
 - ・ 電源プラグに付着したホコリは定期的に拭き取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ってください。
 - ・ 電源プラグは根元まで十分差し込んでください。
- 精密な電子部品などを使っていますので分解や改造をしたり、強い衝撃を与えないでください。感電や故障のおそれがあります。また、分解・改造した物は保証対象外となります。
- 認証キー（7 ページ）を水に濡らしたり、濡れた手で扱わないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 散水による水洗いは避けてください。感電や故障のおそれがあります。
- 機器に異常が発生したら、操作電源盤の電源スイッチを切ってください。発熱、発火の原因になるおそれがあります。
- 分解や修理、改造を行わないでください。
感電によりケガをするおそれがあります。また、本機器は総務省の技術基準に適合しており、改造すると法律により罰せられることがあります。

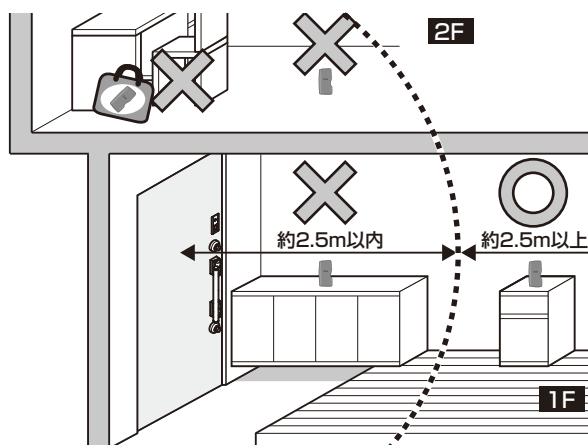


▲ 注 意

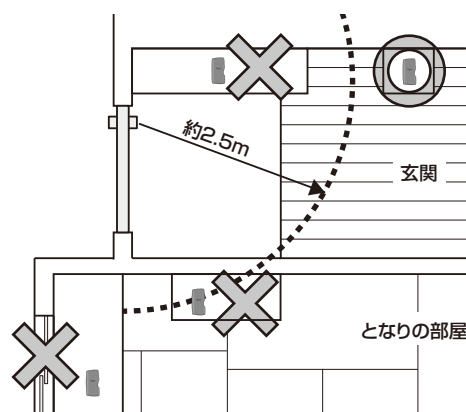
●登録済みの Tebra キーを玄関ドア付近に放置しないでください。不正に解錠(施錠)が行われ第三者に侵入されるおそれがあります。キーの保管は、玄関ドアから 2.5m 以上離れたところにしてください。

※現場環境によって、安全な保管距離 (2.5m) は前後する場合があります。

※ドアより外側に当たる場所での保管は距離に関係なく避けるようにお願いします。



※特に 2F で保管する場合は注意が必要です。



※となりの部屋でも影響を受けます。

●サムターンの作動途中で停電となった場合は、手でサムターンを回し完全に施錠、または解錠してください。意図しない状態になっている場合があり、第三者に侵入されるおそれがあります。

●航空機に Tebra キーを持ち込む場合は、航空機内で Tebra キーのボタンを押さないでください。また、カバンなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

●ドアを開けた状態で、手動による施錠／解錠をしないでください。施錠状態でドアを閉めるとドア枠を傷つける原因になります。

■お願い

●作動中 (サムターンの回転中) およびブザーが鳴っている間は、ハンドル・サムターンを操作しないでください。作動完了前 (ブザーが鳴り終わる前) にハンドル・サムターンを操作すると故障の原因となる場合があります。



●仮に、作動完了前にサムターンを操作した場合、サムターンが重くなってしまう可能性があります。その際は、サムターンの上下のボタンを指でしっかりと押した状態で回してください。



●複数の Tebra 認証キーを同時に使用すると、作動・反応が遅くなったり、作動しない場合があります。

■お願い

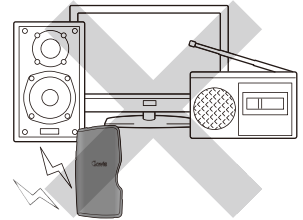
●高温を避けて保管してください。Tebra 認証キーの変形、破損、読み取り不良の原因となります。車の中に長時間放置したり、車のダッシュボードなど、直射日光下で高温になるような場所に Tebra 認証キーを置かないでください。

●認証キーを電化製品の近くに放置したり、磁石（磁性のある物を含む）に近付けないようにしてください。読み取り不良や著しい電池消耗の原因となります。

例：影響のある主な電化製品

＜常時 1 m以上離すのが望ましいもの＞

テレビ、ラジオ、スピーカー、パソコン、電磁調理器、電気スタンド、充電中のコードレス電話機および携帯電話、医療用電気機器など



●温泉地など特殊ガス発生地域、浴室などの多湿の場所および塩害地域では使用しないでください。故障の原因となります。

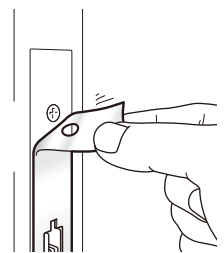
●電池切れ警告が現れなくても、Tebra キーは 2 年ごとに新しい電池と交換してください。(42 ページ)

- ・電池は指定の電池をご使用ください。
- ・電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- ・電池の消耗時には、作動範囲が狭くなる場合があります。

●キーによる操作を長期間行わない場合、ホコリ等の影響でシリンダーの作動が悪くなる場合があります。1 か月に 2 ～ 3 回程度、キーによる操作を行ってください。万が一作動が悪くなっている場合は「お手入れ方法」をご参照ください。(50 ページ)

●鍵穴に異物（針金やマッチ棒など）を入れないでください。異物が詰まるとキーの操作ができなくなります。

●錠のフロントプレートやストライク表面に保護シールが付いている場合は、必ずはがしてください。そのまま放置すると、保護シールについている糊などの影響でサビが発生したり変色することがあります。



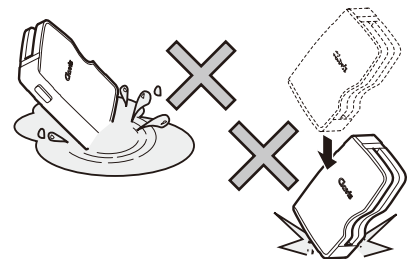
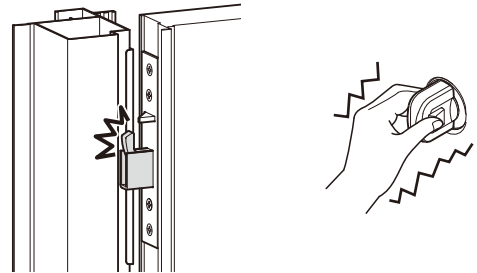
●コピーしたキーは使用しないでください。キーの抜き差しや回転操作が悪くなり、シリンダーに悪影響をおよぼす原因になります。キーの追加購入については、同梱の発注書に記入し注文書記載のサービス代行店までお問合せください。

●経年劣化により戸先の垂れ下がり、ソリ、曲がり、ひずみなどが生じて枠と接触し、錠がスムーズに動かない場合があります。ドア全体の修理が必要となりますので、速やかに、施工業者または建具メーカーに連絡してください。

●換気扇などの機械換気を行ったまま外出される場合は、換気口を必ず開けてください。開けていないと、室内の圧力差によって玄関ドアが室内側に引っ張られるため、認証キーによる施錠／解錠ができなくなることがあります。

■お願い

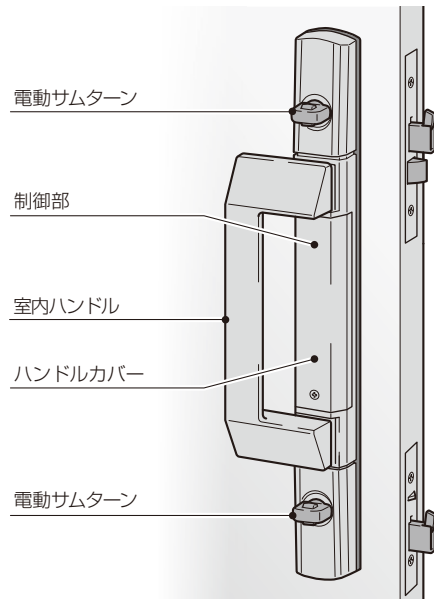
- Tebra キーの手動キーを取り出すとき・戻すときは必ず鍵操作ボタンを押してください。(7 ページ) 無理に取り出し・戻す操作を行うと、破損の原因となります。
- FACE キー認証部のレンズにはキズを付けないように注意してください。認証がしづらくなる場合があります。
- 作動中にサムターンにふれたり、ドアを開けたりしないでください。錠が枠に当たりキズが付くことや一時的にサムターンが固くなる場合があります。
- 停電時や故障など、万が一の事態に備えて、カギ (●→) も携帯するようにしてください。
- 故障の原因となりますので機器全般において以下の使用方法をお守りください。
 - (1) 機器に水などをかけないでください。
 - (2) ストーブなど高温の物を近付けないでください。
 - (3) 加湿器など湯気の出る物を下に置かないでください。
 - (4) 強い力を加えないでください。
- キーについては、次の使用方法も合わせてお守りください。破損や故障の原因になります。
 - (1) 落下などによる衝撃や強い力を加えないでください。
 - (2) 水の中に落とすなど水没させないでください。
 - (3) 窓際や車のダッシュボードの上など高温となる場所に置かないでください。
- 住宅を購入・転売・借入などされた場合は、ご使用開始前に「すべての登録データを削除」してください。この操作により、工事中や前入居者の登録情報が削除されますので不正な利用が防止されます。



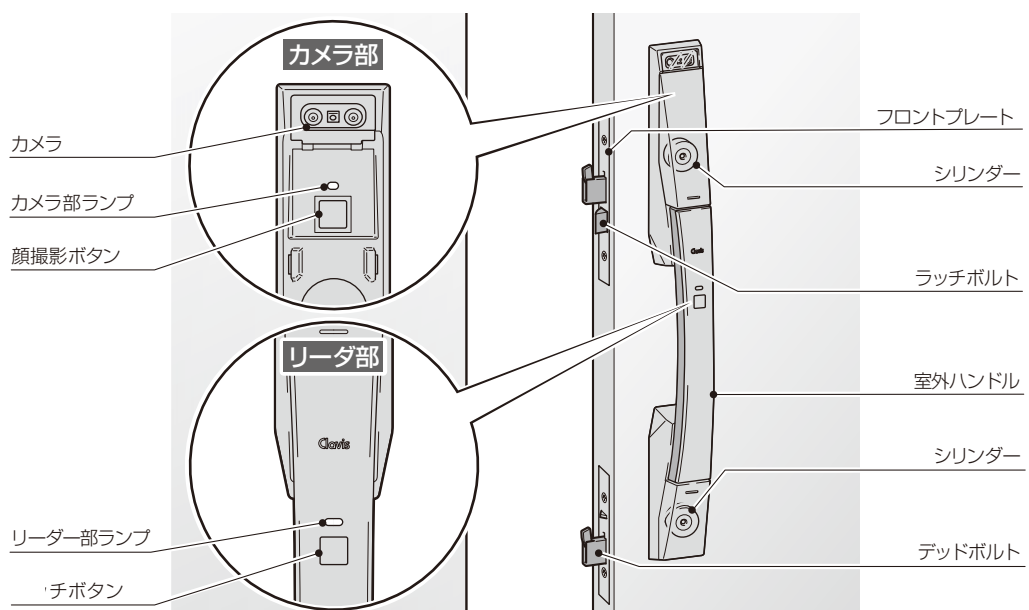
※ Clavis、クラビスおよび Clavis ロゴは株式会社シブタニの商標または登録商標です。
※ Tebra、テブラおよび Tebra ロゴは株式会社シブタニの商標または登録商標です。

各部の名称

ドアまわり部品（室内側）

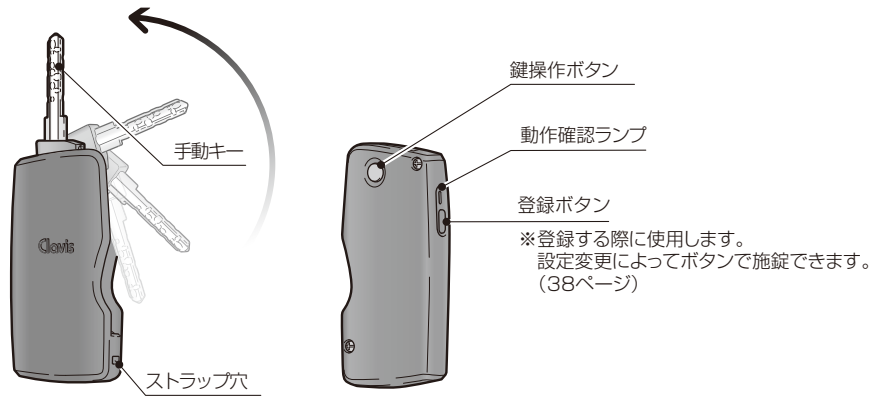


ドアまわり部品（室外側）

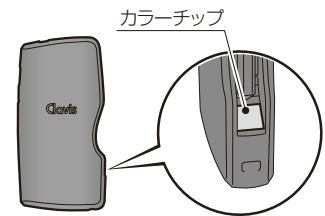


認証キーの種類

Tebra キー



- Tebra キーとはハンズフリー操作による施解錠が可能なキーのことです。(9 ページ)
- 手動キーを出すときは、鍵操作ボタンを押します。
- 使用後は、鍵操作ボタンを押しながら手動キーを Tebra キー本体に戻します。無理に戻すと破損の原因となります。
- キーを判別したい場合は、付属のカラーチップを取付けてください。(42 ページ)

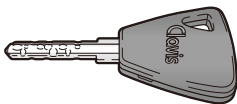


- Tebra キーを 6 秒以上、静止状態で保持すると、電池の消費を防ぐためにスリープ機能が働きます。スリープ機能が働いた Tebra キーは、作動範囲内であっても Tebra キー操作ができなくなります。スリープ機能の解除には Tebra キーを少し揺らしてください。



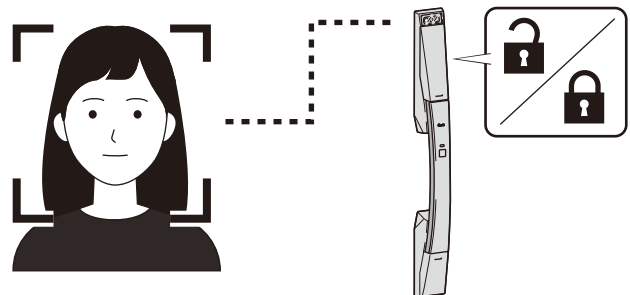
TL キー

- TL キーとはかざす操作による施解錠が可能な非接触キーのことです。(10 ページ)

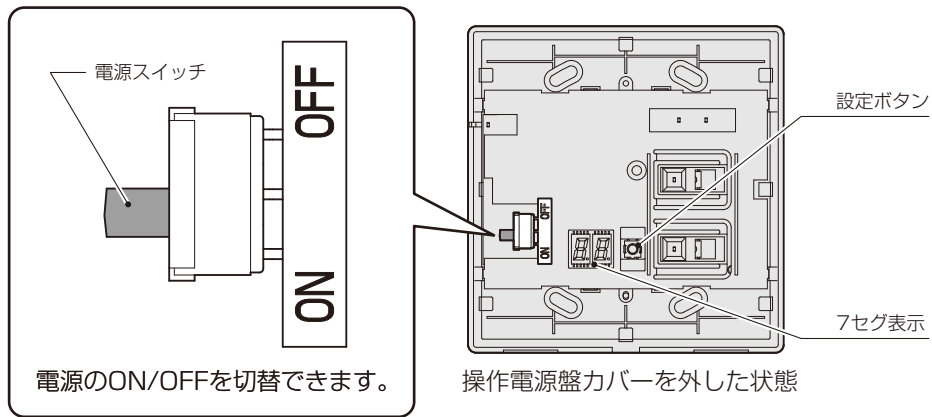
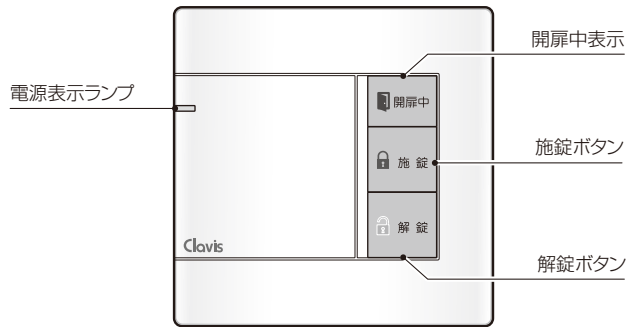


FACE キー

- FACE キーとは、顔認証を行うために登録した顔のことを指します。(11 ページ)



操作電源盤



Tebra キーについて

ハンズフリー操作

Tebra キーがリーダ部の作動範囲内*にあれば、Tebra キーをカバンなどに入れたままでもリーダ部のタッチボタンを押すだけで施錠／解錠ができます。

Tebra キーを持ったままリーダ部の作動範囲内*に入り、リーダ部のタッチボタンを押します。

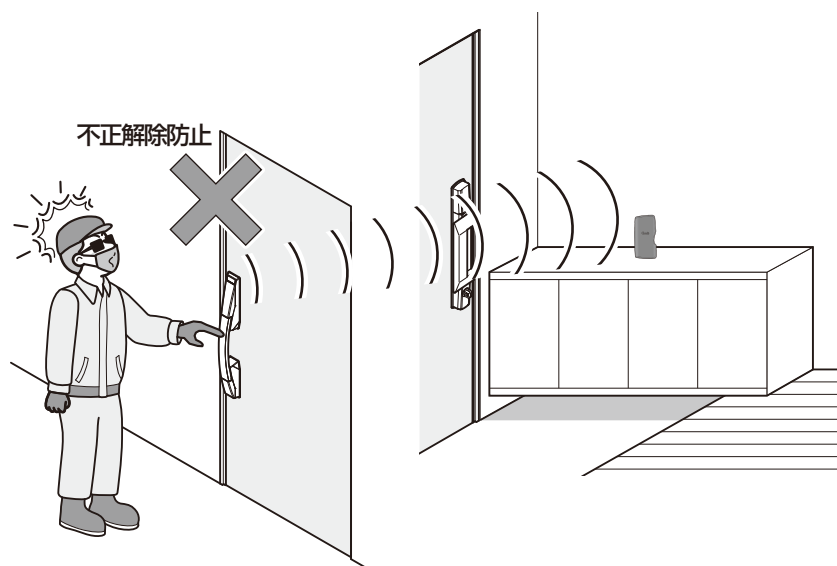
●作動状況をランプおよびブザーでお知らせします。(33 ページ)



*作動範囲は設置環境によって異なります。

キャンセル機能

室内にある Tebra キーに対して、室外からのハンズフリー操作を無効にし、誤って施錠／解錠されることを防止します。



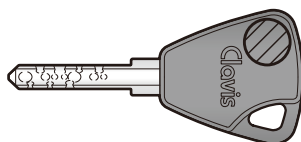
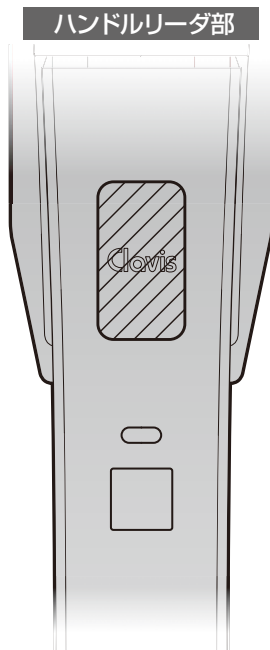
TL キーについて

かざす操作

TL キーは IC チップを内蔵しており、リーダ部にかざすことで IC チップの情報を認証し、施錠／解錠を行います。

以下の領域でアンテナを形成しています。

●作動状況をランプおよびブザーでお知らせします。(34 ページ)



※Clavisマークがある面をかざしてください。反対の面をかざしても認証されない場合がございます。

※Tebraキーもチップを内蔵しているため、電池切れ時はTLキーと同様の操作が可能です。

※Clavisマークがある面をかざしてください。反対の面をかざしても認証されない場合がございます。

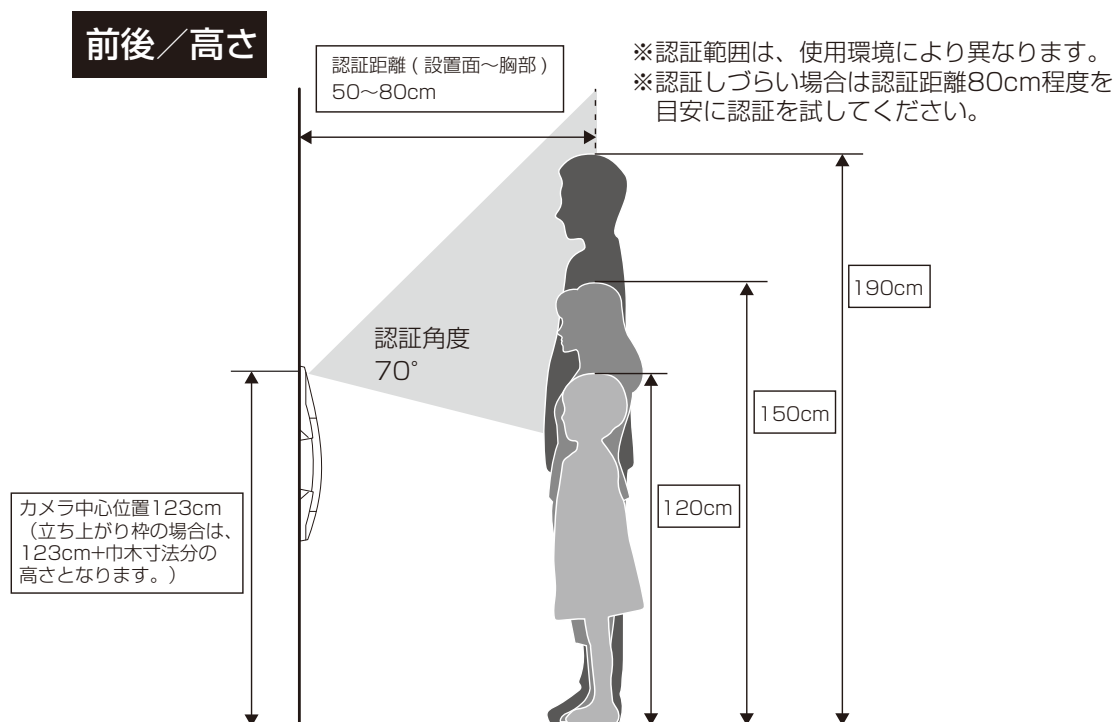


顔認証について

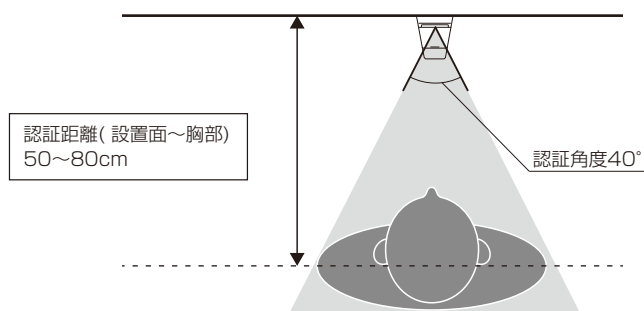
顔認証の特性

顔認証はカメラで撮影した顔情報を登録している FACE キーと照合し、施錠／解錠を行います。

●作動状況をランプおよびブザーでお知らせします。(32 ページまたは 35 ページ)

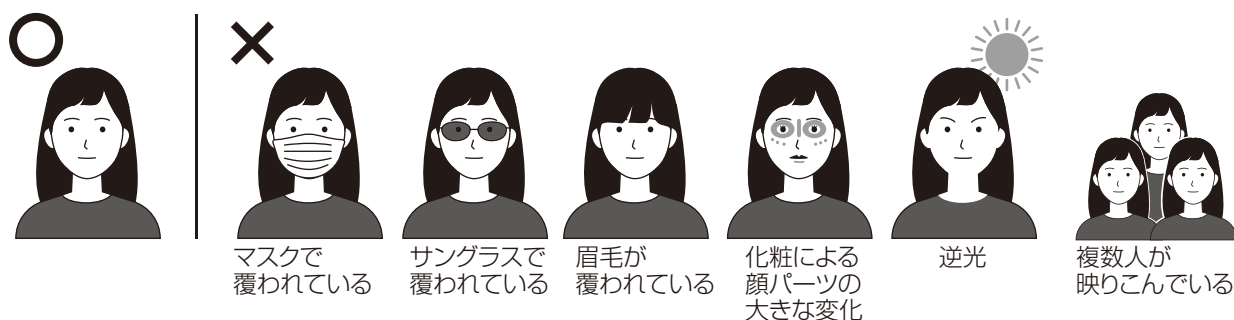


左右



顔認証登録および認証時のご注意

- マスクやサングラスなど顔を覆い隠すものを装着している場合や、顔写真・動画を使用した場合には、顔認証および顔登録することはできません。
- 眉毛が髪などで隠れないようにしてください。
- カメラとの距離が近い場合は、顔がカメラの正面に来るように意識してください。
- 双子の場合は、登録している認証方法を合わせてください。
認証方法を混在させると認証しづらい場合があります。
- 双子の場合は、もう一方の顔登録をしていなくてもロック解除ができる場合があります。
- 適時、顔の再登録をおすすめします。成長に伴い認証しづらくなる可能性があるため、定期的な顔登録を行ってください。
- 化粧をしていても登録、認証が可能です。顔のパーツの形が大きく変化して見える化粧をしている場合、認証できないことがあります。
- 逆光の場合、顔を認証しづらくなる場合があります。太陽光を手などで遮り、認証をしてください。
- カメラに複数人映り込まないようにしてください。
- カメラ部の汚れは定期的にお手入れしてください。(50 ページ) カメラのレンズに水滴やホコリ、汚れなどが付着していると認証しづらくなる場合があります。



各認証方法について

ダブル認証／シングル認証について

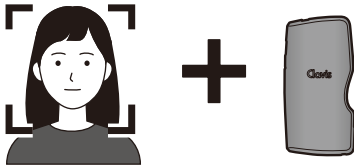
- FACE キーの登録は、認証キー 1 つに対して 1 つの顔が登録可能です。複数の顔を登録したい場合はその人数分の Tebra/TL キーが必要です。
- Tebra/TL キーごとにシングル認証／ダブル認証を選択できます。一つの Tebra/TL キーに対して両方を選択することはできません。

認証方法には「ダブル認証」と「シングル認証」の 2 種類があります。

ダブル認証

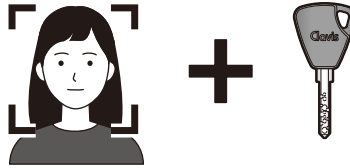
FACE キーと Tebra/TL キーの 2 要素での認証で施錠が可能です。
セキュリティを高めたい人におすすめです。

【ケース 1】



FACE キー + Tebra キーで
施錠が可能です
(32 ページ)

【ケース 2】



FACE キー + TL キーで
施錠が可能です
(32 ページ)

シングル認証

1 つの認証キーで施錠が可能です。
FACE キーは顔だけの解錠が可能のため、自動施錠と組み合わせてご使用いただくと万が一の際の閉め出し抑制、無締まり防止に繋がります。^{※1}
(自動施錠とは：15 ページ)

【ケース 1】



Tebra キーで
施錠が可能です
(33 ページ)

【ケース 2】



TL キーで
施錠が可能です
(34 ページ)

【ケース 3】



FACE キーで施錠が可能です^{※2}
(35 ページ)

※1 自動施錠機能 ON の場合、解錠方法問わず自動施錠するためカギの不携帯による閉め出しの可能性があります。そのため、使用者全員 FACE キーによるシングル認証設定することを強く推奨します。

※2 限りなく特徴点の似た顔（双子など）の場合、同一人物と認識してしまうリスクがあります。
そのような場合はダブル認証でのご利用をおすすめします。

ダブル認証時、FACE キーと共に使用する Tebra/TL キーは、他の方がダブル認証として登録した Tebra/TL キーでも代用ができます。

下図を参照ください。

【ケース 1】



施錠可能

【ケース 2】



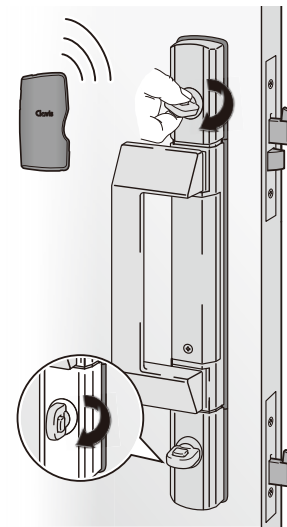
施錠可能

解錠アシスト機能について

施錠状態時、Tebra キーを持ったまま室内側から上側のロックをサムターンで手動解錠すると、下側のロックも連動し解錠されます。

次の場合は、連動して解錠されません。

- 下側のロックを、サムターンで手動解錠した場合
- 下側のロックが、すでに解錠状態の場合
- 停電時
- Tebra キーの電池切れ時
- 施錠操作を素早く繰り返すと、連動して解錠されない場合があります。
間隔をあけてから、操作してください。
- Tebra キーが近くにないとき
- Tebra キーがスリープ状態の場合



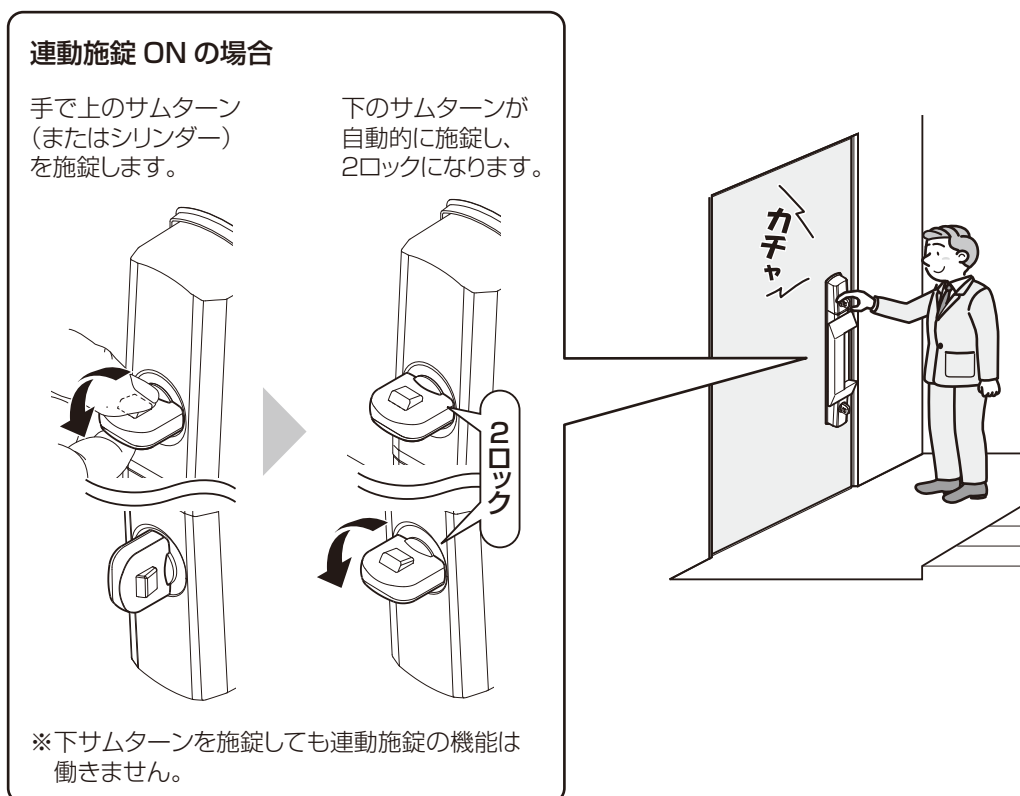
解錠アシスト機能は ON/OFF の切り替えが可能です。

解錠アシスト機能の ON/OFF 切り替え方法は 38 ページの“機能の設定変更方法”を参照ください。

(初期設定は ON)

連動施錠機能について

手動で上のサムターン（またはシリンダー）を施錠すると、連動して下のサムターン（またはシリンダー）も施錠されます。



連動施錠機能は ON/OFF の切り替えが可能です。

連動施錠機能の ON/OFF 切り替え方法は 38 ページの“機能の設定変更方法”を参照ください。

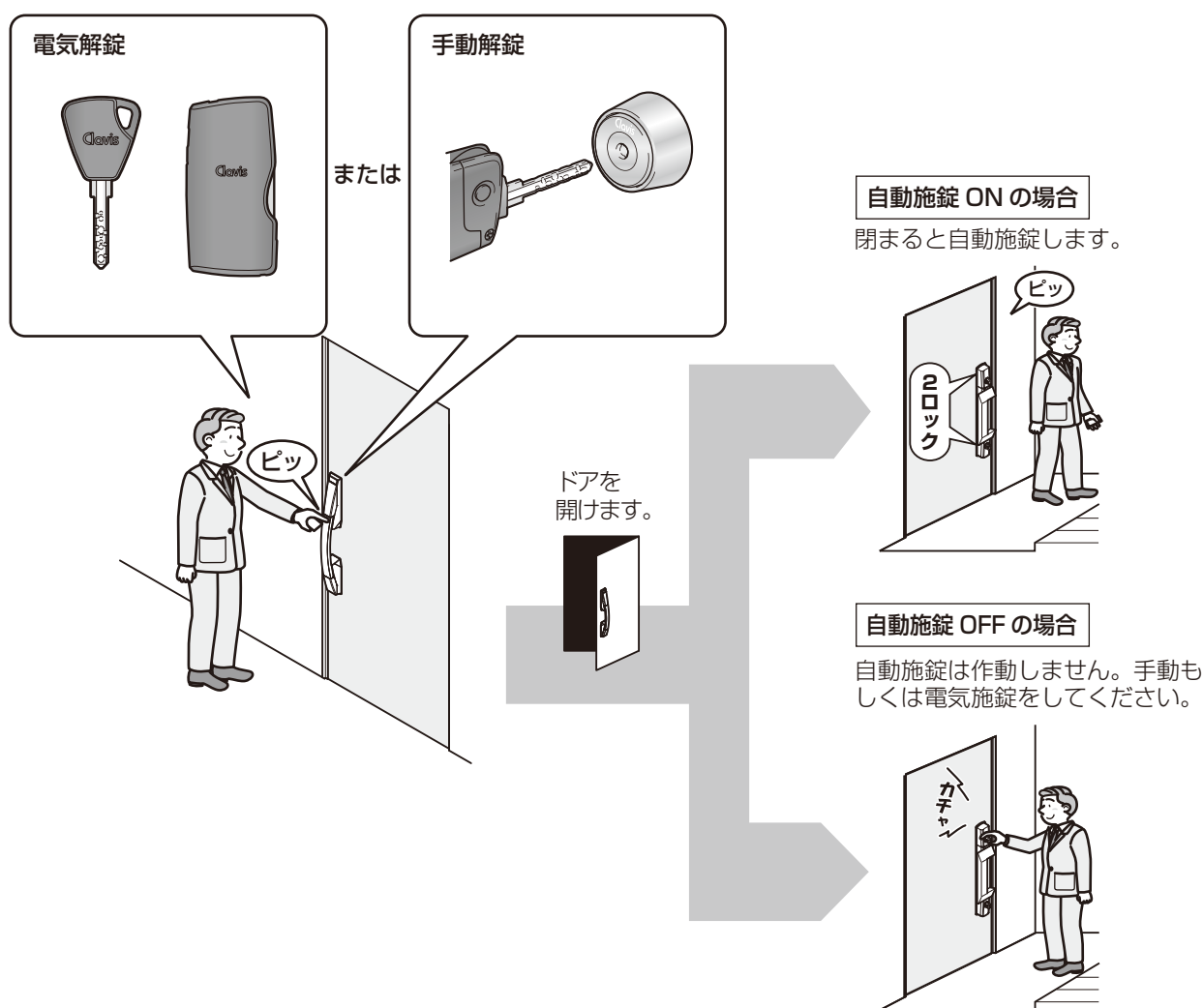
(初期設定は ON)

自動施錠機能について

■お願い

- 自動施錠機能 ON の場合、解錠方法問わず自動施錠するためカギの不携帯による閉め出しの可能性があります。そのため、使用者全員 FACE キーによるシングル認証設定することを強く推奨します。
(FACE キーによるシングル認証とは：13 ページ、FACE キー登録方法：17 ページ)
- 自動施錠機能を ON にした場合は、カギの不携帯による閉め出しが起きやすいため、外出時は必ずカギをお持ちください。

手動解錠または電気解錠をします。



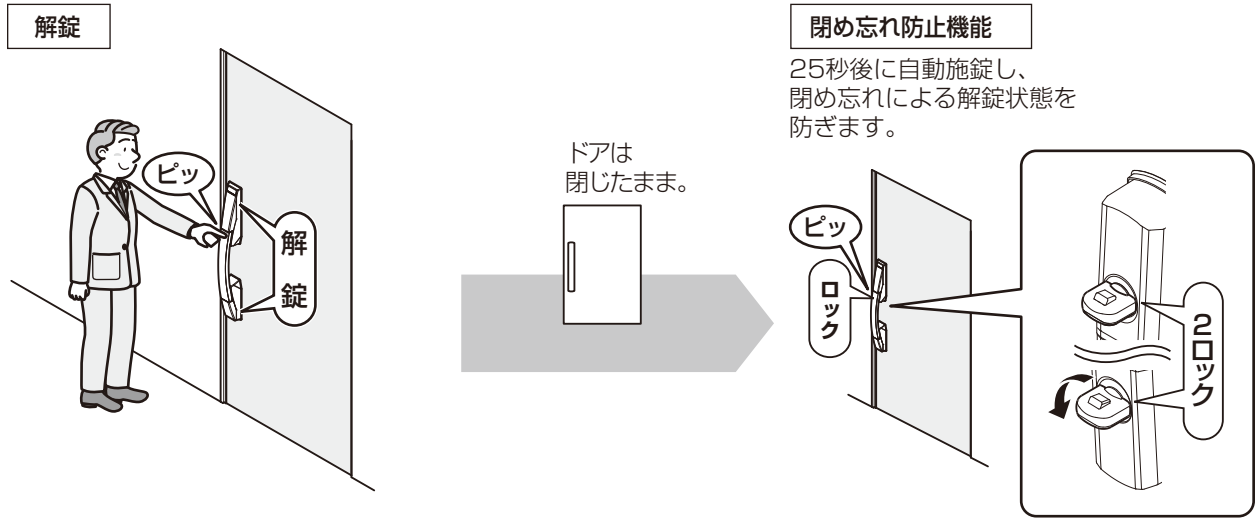
自動施錠機能は ON/OFF の切り替えが可能です。

自動施錠機能の ON/OFF 切り替え方法は 38 ページの“機能の設定変更方法”を参照ください。

(初期設定は OFF)

閉め忘れ防止機能について

解錠後、ドアの開閉をせずに 25 秒経過した際、自動で施錠がされます。



閉め忘れ防止機能は ON/OFF の切り替えが可能です。

閉め忘れ防止機能の ON/OFF 切り替え方法は 38 ページの“機能の設定変更方法”を参照ください。

(初期設定は ON)

認証キーの登録方法

■お願い

認証キーを紛失された場合は、以下の対応を行ってください。

●認証キー情報の抹消（41 ページ）

●シリンダーの交換※

●新しい認証キーの再登録

※認証キーを無くされた場合、セキュリティ上シリンダーごと交換となります。
（49 ページ）

この製品は、複数（*最大16 個）の認証キーを登録できます。

新たに認証キーを追加購入した場合は、登録が必要です。

※：TebraキーおよびTLキーの登録はそれぞれ最大8個までです。

また、FACEキーは最大16個までです。

登録したい施解錠パターンを下記からお選びいただき、指定のページより認証キーの登録をしてください。

■ダブル認証によるFACEキーでの施解錠をしたい方（18ページ）

■シングル認証によるTebraキー / TLキーでの施解錠をしたい方（22ページ）

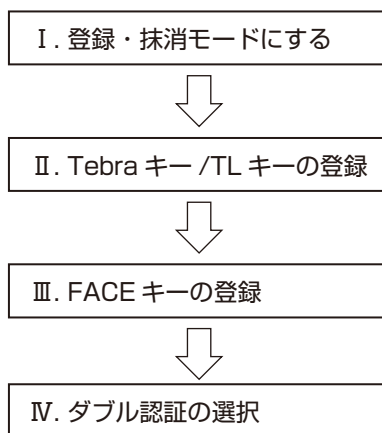
■シングル認証によるFACEキーでの施解錠をしたい方（25ページ）

■ダブル認証によるFACEキーでの施解錠をしたい方

登録方法はこちらの2次元コードから動画で確認いただけます。



認証キーの登録フロー



ダブル認証によるFACEキーでの施解錠が可能になります。

Tbra キー：約2分

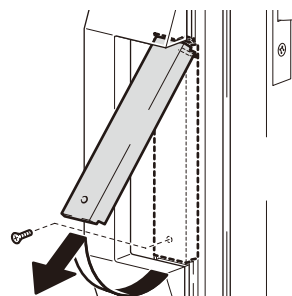
TL キー：約2分

※1つの認証キーに対して登録する場合にかかるおおよその時間です。

I. 登録・抹消モードにする

1新規で登録したい認証キーをお手元にご用意ください。

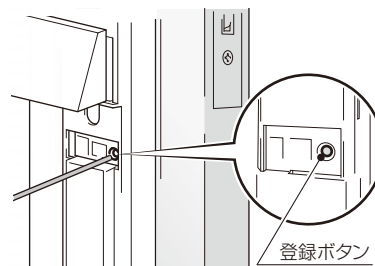
2室内側からハンドルカバーを取外します。
ねじを取外し、カバー下部を手前にずらします。
※ねじを紛失しないように保管してください。



3ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。
※ロック解錠 / ドア開扉をしていない状態では、登録作業は行えません。

4室内ハンドルの登録ボタンを2秒以上押し続け、登録・抹消モードにします。

- 先のとがっていない細いものでやさしく押ししてください。
- 登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。登録・抹消ができない可能性があります。
- 登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。
- 15秒間登録・抹消の操作がない場合、自動的に登録・抹消モードが終了します。



作動状況	リーダ部ランプ
登録・抹消モード開始	緑色点灯 (0.3秒)
登録・抹消モード中	赤色点滅

II. Tebra キー / TL キーの登録

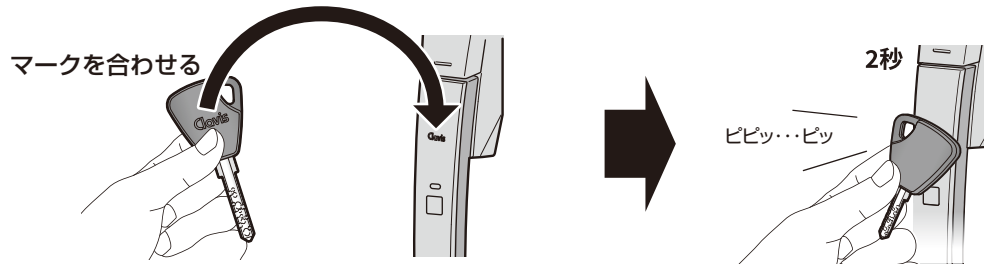
TL キー（登録可能数：最大 8 個）の場合

リーダ部の「Clavis」マークと登録する TL キーの「Clavis」マークを 2 秒以上かざし続け、IC チップを登録してください。

※キーの認証範囲をご確認ください。（10 ページ）

- ・ “ピピッ…* * *” と二回目のブザー*が鳴り、ランプが緑色に点灯するまで TL キーを「Clavis」マークから約 1 cm 以上離さないでください。
- ・ かざした TL キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に TL キーの「Clavis」マークを離すと、登録されません）

※登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。29 ページの表をご参照ください。



マークを合わせてください。

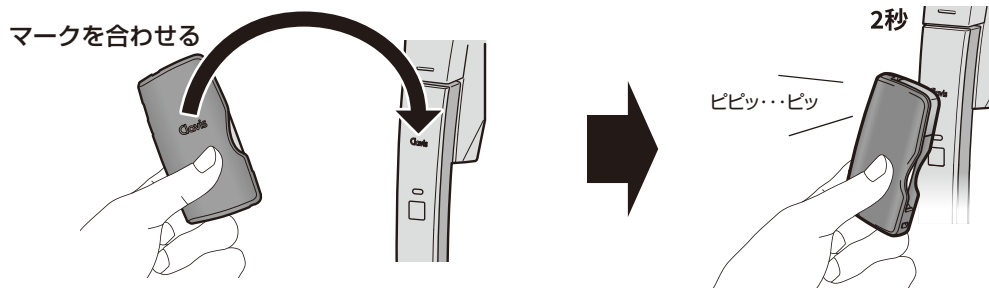
登録しづらい場合は、TL キーをリーダ部から離さずに認証範囲内で動かしながら登録してください。

Tebra キー（登録可能数：最大 8 個）の場合

1 リーダ部の「Clavis」マークと登録する Tebra キーの「Clavis」マークを 2 秒以上かざし続け、IC チップを登録してください。

※キーの認証範囲をご確認ください。（10 ページ）

- ・ “ピピッ…* * *” と二回目のブザー*が鳴るまで Tebra キーを「Clavis」マークから約 1 cm 以上離さないでください。
- ・ かざした Tebra キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に Tebra キーの「Clavis」マークを離すと、登録されません）

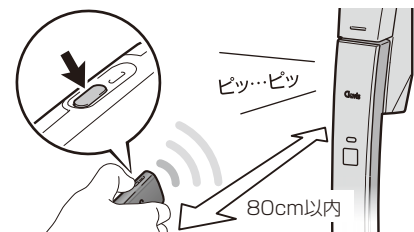


マークを合わせてください。

登録しづらい場合は、Tebra キーをリーダ部から離さずに認証範囲内で動かしながら登録してください。

2 **1**の後、リーダ部の登録検知範囲内（約 80cm 以内）で、登録する Tebra キーの登録ボタンを 2 秒以上、押し続け、ハンズフリー登録をしてください。

- ・ “ピッ…” とブザー*が鳴るまで Tebra キーを登録検知範囲外に出さないでください。
- ・ 操作ボタンを押した Tebra キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に Tebra キーを登録検知範囲外に持ち出すと、登録されません）



※登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。29 ページの表をご参照ください。

これで登録は終了となります。追加で Tebra キー / TL キーの登録をする際は II の操作を繰り返し行います。

登録がうまくいかない場合は I の**4**からもう一度作業ください。

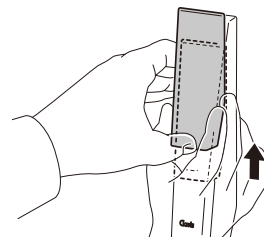
リーダ部ランプが点滅しておらず、登録・抹消モードが終了している可能性があります。

Ⅲ. FACE キーの登録（最大 16 人（Tebra キー最大 8 人 / TL キー最大 8 人））

FACE キーの登録には、登録済みの認証キー（TLキーまたはTebraキー）が必要です。

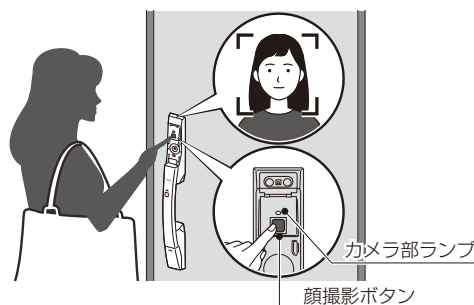
1登録・抹消モードが終了している場合、I の**1**～**4**の手順（18 ページ）を行ったうえ、カメラ部のカバーを外します。

※カバーを上押し上げるようにスライドさせると外せます。



2カメラに顔と視線を向けて、カメラから 50cm 程度離れた状態でカメラ部の顔撮影ボタンを短押しします。

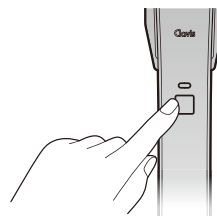
- ・ “ピッ” とブザーが鳴り、ランプが青く光るまで、顔を認証範囲内から離さないでください。（11 ページ）
- ・ 登録時の顔の位置は、FACE キー使用時と同じ位置で撮影してください。ブザーが鳴る前にカメラから顔を背けると、登録されません。
- ・ 12 ページに記載している内容に注意して登録してください。
- ・ 顔撮影の成功 / 失敗時の報知情報は 29 ページを参照ください。



Ⅳ. ダブル認証の選択

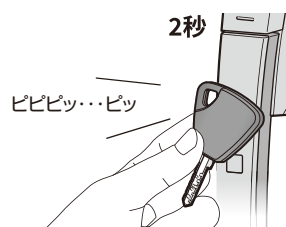
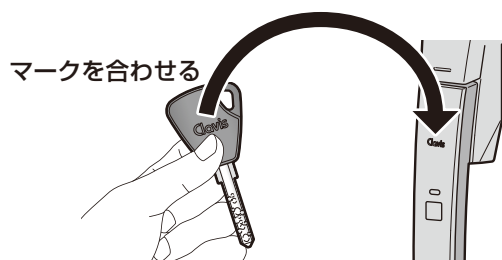
1タッチボタンを短押しします。

- ・ “ピピッ” とブザー音が鳴ると、LED が 2 回点滅し、ダブル認証登録モードを開始します。



2リーダ部に、登録済みの認証キー（Tebra キー / TL キー）をかざします。

- ・ “ピピピッ…***” と二回目のブザー*が鳴るまで、Tebra キー / TL キーを「Clavis」マークにかざし続けてください。かざす時はマークから約 1cm 以上離さないようにしてください。



マークを合わせてください。

登録しづらい場合は、認証キーをリーダ部から離さずに認証範囲内で動かしながら登録してください。

顔登録がうまくいかない場合はⅢの**1**からもう一度作業ください。

※登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。29 ページの表をご参照ください。

FACE キー情報は上書き変更することが可能です。

FACE キー情報を上書きしたい場合は本ページのⅢの作業を実施ください。

これでダブル認証の登録は終了です。

続けて顔登録を行う場合は、Ⅲの操作から行ってください。

認証キーの登録確認

1 室内ハンドルの登録ボタンを押し、登録・抹消モードを終了します。

- ・ 15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に登録・抹消モードが終了します。

2 登録したすべての認証キーで施錠／解錠操作を行い、正常に作動することを確認します。

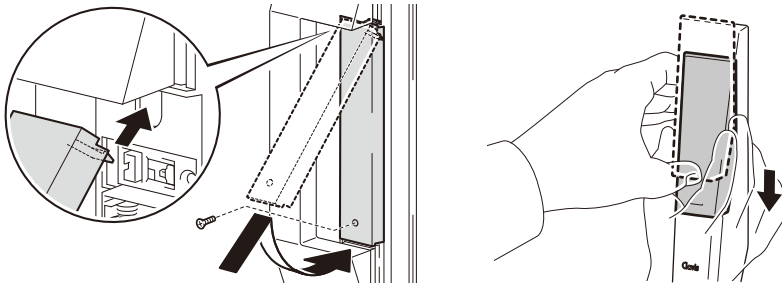
(Tebra キー：33 ページ、TL キー：34 ページ、FACE キー：32, 35 ページ)

確認する認証キー以外は作動範囲内（リーダ部から 2m 以内）に置かないでください。作動範囲内に複数の認証キーがある場合、確実な登録確認が行えません。

※ダブル認証を設定した場合は、正しく設定されているかを確認するために、カメラ部を手で遮りながら認証作業を行ってください。正しく設定されていれば、施解錠されません。

3 ハンドルカバー、カメラ部カバーを元に戻します。

- ・ ハンドルカバー上部のツメを差し込み、浮いている側を本体にはめこみ、ねじを締めこみます。
- ・ カメラ部カバー下部のツメを差し込み、本体にはめこみます。



■シングル認証による Tebra キー / TL キーでの施解錠をしたい方

登録方法はこちらの2次元コードから動画で確認いただけます。



認証キーの登録フロー

I. 登録・抹消モードにする



II. Tebra キー / TL キーの登録

シングル認証による Tebra キー、
TL キーでの施解錠が可能になります。

Tebra キー：約 1 分

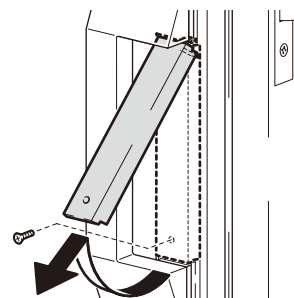
TL キー：約 1 分

※ 1 つの認証キーに対して登録する場合にかかるおおよその
時間です。

I. 登録・抹消モードにする

1新規で登録したい認証キーをお手元にご用意ください。

2室内側からハンドルカバーを取外します。
ねじを取外し、カバー下部を手前にずらします。
※ねじを紛失しないように保管してください。

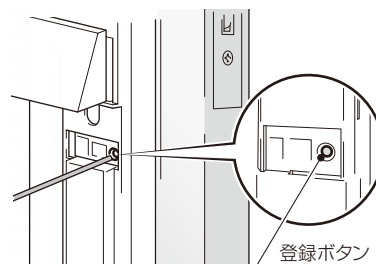


3ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。

※ロック解錠 / ドア開扉をしていない状態では、登録作業は行えません。

4室内ハンドルの登録ボタンを 2 秒以上押し続け、登録・抹消モードに
します。

- 先のとがっていない細いものでやさしく押ししてください。
- 登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。登録・抹消ができない可能性があります。
- 登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。
- 15 秒間登録・抹消の操作がない場合、自動的に登録・抹消モードが終了します。



作動状況	リーダ部ランプ
登録・抹消モード開始	緑色点灯 (0.3 秒)
登録・抹消モード中	赤色点滅

II. Tebra キー / TL キーの登録

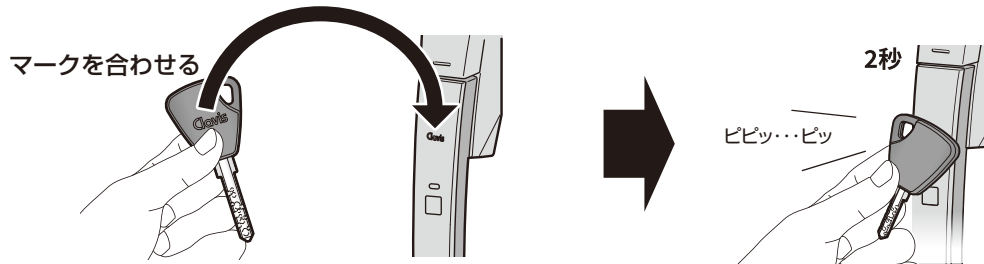
TL キー（登録可能キー数：最大 8 個）の場合

リーダ部の「Clavis」マークと登録するTLキーの「Clavis」マークを2秒以上かざし続け、ICチップを登録してください。

※キーの認証範囲をご確認ください。（10 ページ）

- ・ “ピピッ…* * *” と二回目のブザー*が鳴り、ランプが緑色に点灯するまで TL キーを「Clavis」マークから約 1cm 以上離さないでください。
- ・ かざした TL キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に TL キーの「Clavis」マークを離すと、登録されません）

※登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。29 ページの表をご参照ください。



マークを合わせてください。

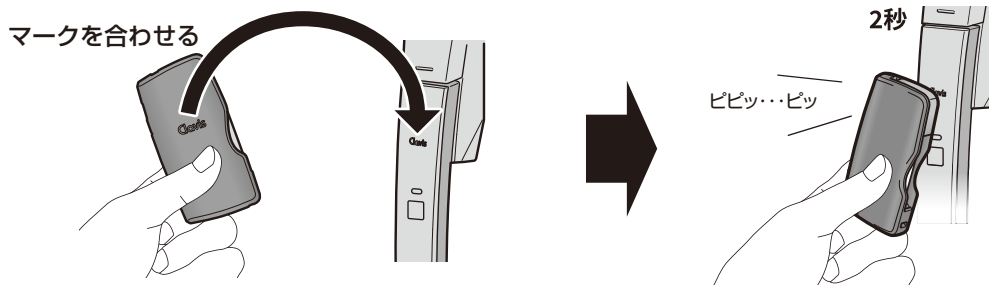
登録しづらい場合は、TL キーをリーダ部から離さずに認証範囲内で動かしながら登録してください。

Tebra キー（登録可能数：最大 8 個）の場合

1 リーダ部の「Clavis」マークと登録するTebraキーの「Clavis」マークを2秒以上かざし続け、ICチップを登録してください。

※キーの認証範囲をご確認ください。（10 ページ）

- ・ “ピピッ…* * *” と二回目のブザー*が鳴るまで Tebra キーを「Clavis」マークから約 1cm 以上離さないでください。
- ・ かざした Tebra キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に Tebra キーの「Clavis」マークを離すと、登録されません）

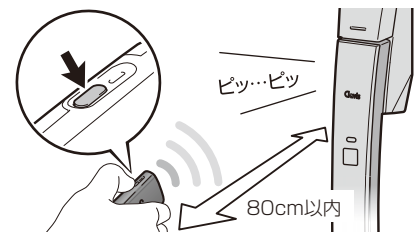


マークを合わせてください。

登録しづらい場合は、Tebra キーをリーダ部から離さずに認証範囲内で動かしながら登録してください。

2 1の後、リーダ部の登録検知範囲内（約80cm以内）で、登録するTebraキーの登録ボタンを2秒以上、押し続け、ハンズフリー登録をしてください。

- ・ “ピッ…” とブザー*が鳴るまで Tebra キーを登録検知範囲外に出さないでください。
- ・ 操作ボタンを押した Tebra キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に Tebra キーを登録検知範囲外に持ち出すと、登録されません）



※登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。29 ページの表をご参照ください。

これで登録は終了となります。追加で Tebra キー / TL キーの登録をする際は II の操作を繰り返し行います。

登録がうまくいかない場合は I の 4 からもう一度作業ください。

リーダ部ランプが点滅しておらず、登録・抹消モードが終了している可能性があります。

続けてダブル認証によるFACEキーでの施解錠をしたい方は20ページのⅢから、シングル認証によるFACEキーでの施解錠をしたい方は27ページのⅢから登録作業ください。

登録を終了する場合は制御部のボタンを押す、もしくは15秒間何も操作せずに登録・抹消モードを終了します。

認証キーの登録確認

1 室内ハンドルの登録ボタンを押し、登録・抹消モードを終了します。

- ・ 15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に登録・抹消モードが終了します。

2 登録したすべての認証キーで施錠／解錠操作を行い、正常に作動することを確認します。

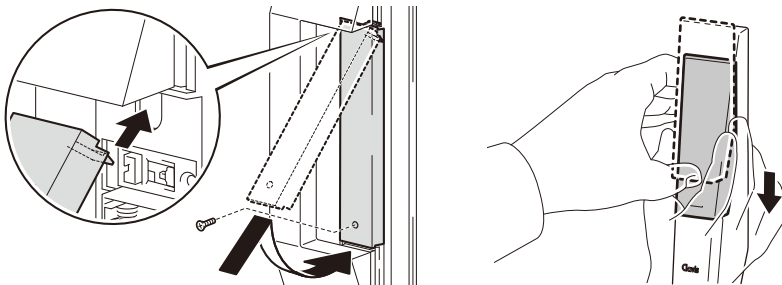
(Tebra キー：33 ページ、TL キー：34 ページ、FACE キー：32, 35 ページ)

確認する認証キー以外は作動範囲内（リーダ部から 2m 以内）に置かないでください。作動範囲内に複数の認証キーがある場合、確実な登録確認が行えません。

※ダブル認証を設定した場合は、正しく設定されているかを確認するために、カメラ部を手で遮りながら認証作業を行ってください。正しく設定されていれば、施解錠されません。

3 ハンドルカバー、カメラ部カバーを元に戻します。

- ・ ハンドルカバー上部のツメを差し込み、浮いている側を本体にはめこみ、ねじを締めこみます。
- ・ カメラ部カバー下部のツメを差し込み、本体にはめこみます。

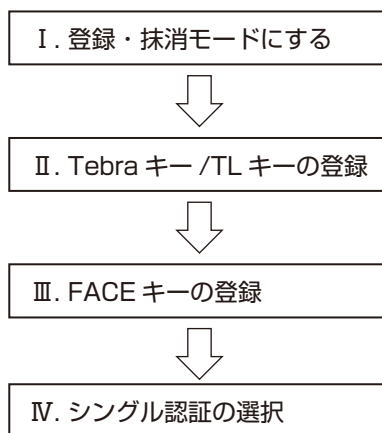


■シングル認証によるFACEキーでの施解錠をしたい方

登録方法はこちらの2次元コードから動画で確認いただけます。



認証キーの登録フロー



シングル認証によるFACEキーでの施解錠が可能になります。

Tebra キー：約2分

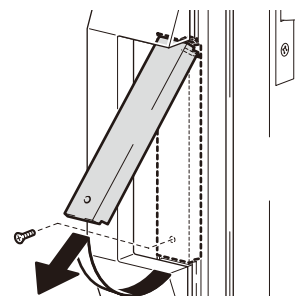
TL キー：約2分

※1つの認証キーに対して登録する場合にかかるおおよその時間です。

I. 登録・抹消モードにする

1新規で登録したい認証キーをお手元にご用意ください。

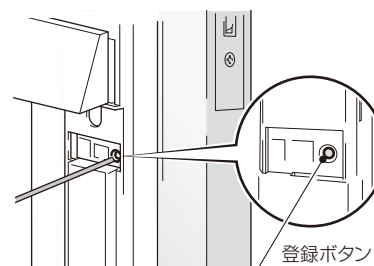
2室内側からハンドルカバーを取外します。
ねじを取外し、カバー下部を手前にずらします。
※ねじを紛失しないように保管してください。



3ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。
※ロック解錠 / ドア開扉をしていない状態では、登録作業は行えません。

4室内ハンドルの登録ボタンを2秒以上押し続け、登録・抹消モードにします。

- 先のとがっていない細いものでやさしく押ししてください。
- 登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。登録・抹消ができない可能性があります。
- 登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。
- 15秒間登録・抹消の操作がない場合、自動的に登録・抹消モードが終了します。



作動状況	リーダ部ランプ
登録・抹消モード開始	緑色点灯 (0.3秒)
登録・抹消モード中	赤色点滅

II. Tebra キー / TL キーの登録

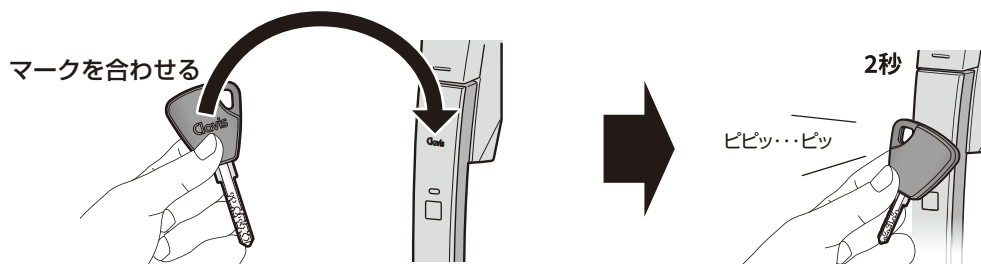
TL キー（登録可能数：最大 8 個）の場合

リーダ部の「Clavis」マークと登録する TL キーの「Clavis」マークを 2 秒以上かざし続け、IC チップを登録してください。

※キーの認証範囲をご確認ください。（10 ページ）

- ・ “ピピッ…* * *” と二回目のブザー*が鳴り、ランプが緑色に点灯するまで TL キーを「Clavis」マークから約 1 cm 以上離さないでください。
- ・ かざした TL キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に TL キーの「Clavis」マークを離すと、登録されません）

※登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。29 ページの表をご参照ください。



マークを合わせてください。

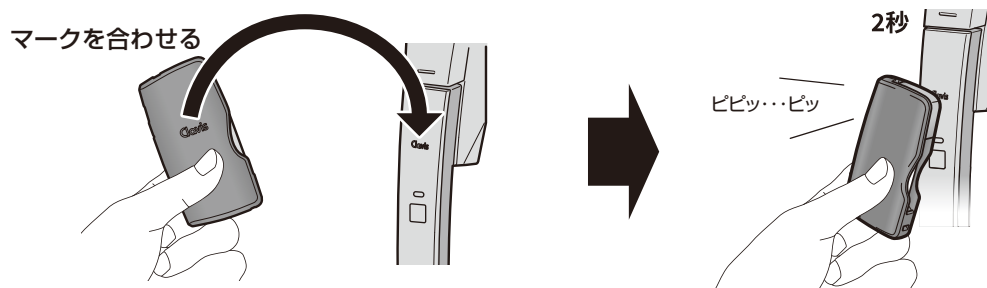
登録しづらい場合は、TL キーをリーダ部から離さずに認証範囲内で動かしながら登録してください。

Tebra キー（登録可能数：最大 8 個）の場合

1リーダ部の「Clavis」マークと登録する Tebra キーの「Clavis」マークを 2 秒以上かざし続け、IC チップを登録してください。

※キーの認証範囲をご確認ください。（10 ページ）

- ・ “ピピッ…* * *” と二回目のブザー*が鳴るまで Tebra キーを「Clavis」マークから約 1 cm 以上離さないでください。
- ・ かざした Tebra キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に Tebra キーの「Clavis」マークを離すと、登録されません）

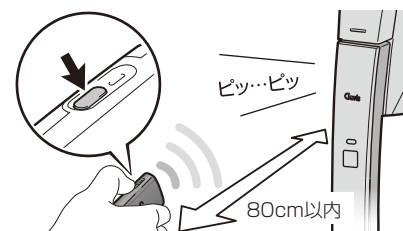


マークを合わせてください。

登録しづらい場合は、Tebra キーをリーダ部から離さずに認証範囲内で動かしながら登録してください。

2 **1**の後、リーダ部の登録検知範囲内（約 80cm 以内）で、登録する Tebra キーの登録ボタンを 2 秒以上、押し続け、ハンズフリー登録をしてください。

- ・ “ピッ…” とブザー*が鳴るまで Tebra キーを登録検知範囲外に出さないでください。
- ・ 操作ボタンを押した Tebra キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に Tebra キーを登録検知範囲外に持ち出すと、登録されません）



※登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。29 ページの表をご参照ください。

これで登録は終了となります。追加で Tebra キー / TL キーの登録をする際は II の操作を繰り返し行います。

登録がうまくいかない場合は I の **4** からもう一度作業ください。

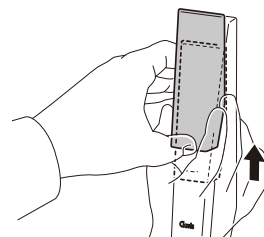
リーダ部ランプが点滅しておらず、登録・抹消モードが終了している可能性があります。

Ⅲ. FACE キーの登録（最大 16 人（Tebra キー最大 8 人 / TL キー最大 8 人））

FACE キーの登録には、登録済みの認証キー（TLキーまたはTebraキー）が必要です。（30ページ）

■登録・抹消モードが終了している場合、I の 1~4 の手順（25 ページ）を行ったうえ、カメラ部のカバーを外します。

※カバーを上押し上げるようにスライドさせると外せます。



■カメラに顔と視線を向けて、カメラから 50cm 程度離れた状態でカメラ部の顔撮影ボタンを短押しします。

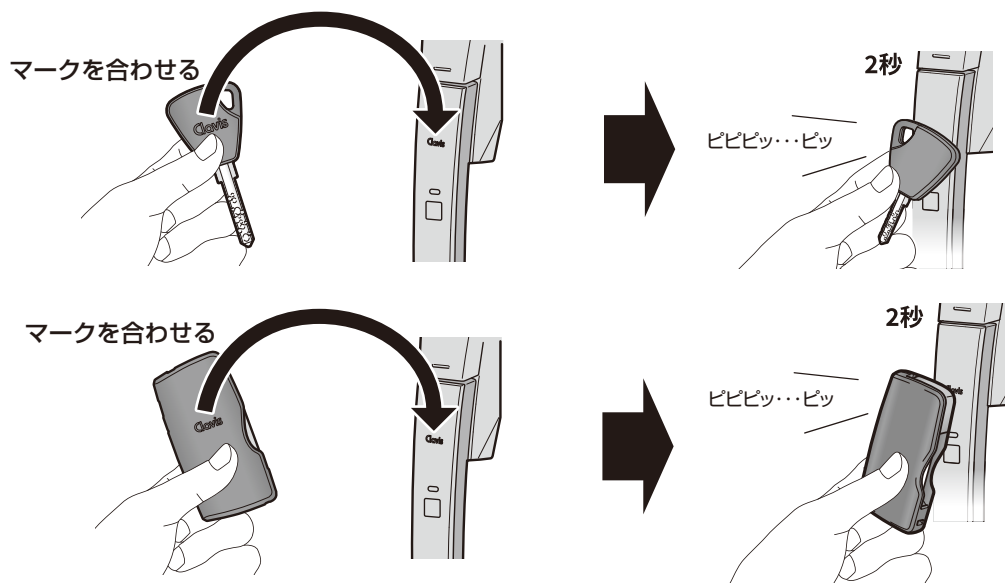
- ・“ピッ”とブザーが鳴り、ランプが青く光るまで、顔を認証範囲内から離さないでください。（11 ページ）
- ・登録時の顔の位置は、FACE キー使用時と同じ位置で撮影してください。ブザーが鳴る前にカメラから顔を背けると、登録されません。
- ・12 ページに記載している内容に注意して登録してください。
- ・顔撮影の成功 / 失敗時の報知情報は 29 ページを参照ください。



Ⅳ. シングル認証の選択

リーダ部に、登録済みの認証キー（Tebra キー / TL キー）をかざします。

- ・“ピピピッ…***”と二回目のブザー*が鳴るまで、Tebra キー / TL キーを「Clovis」マークにかざし続けてください。かざす時はマークから約 1cm 以上離さないようにしてください。



マークを合わせてください。

登録しづらい場合は、認証キーをリーダ部から離さずに認証範囲内で動かしながら登録してください。

顔登録がうまくいかない場合はⅢの1からもう一度作業ください。

※登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。29 ページの表をご参照ください。

また、キーをかざす前にタッチボタンを押すと、ダブル認証に設定されますので、ご注意ください。

FACE キー情報は上書き変更することが可能です。

FACE キー情報を上書きしたい場合はⅢの作業を実施ください。

これでシングル認証の登録は終了です。続けて顔登録を行う場合は、Ⅲの操作から行ってください。

認証キーの登録確認

1 室内ハンドルの登録ボタンを押し、登録・抹消モードを終了します。

- ・ 15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に登録・抹消モードが終了します。

2 登録したすべての認証キーで施錠／解錠操作を行い、正常に作動することを確認します。

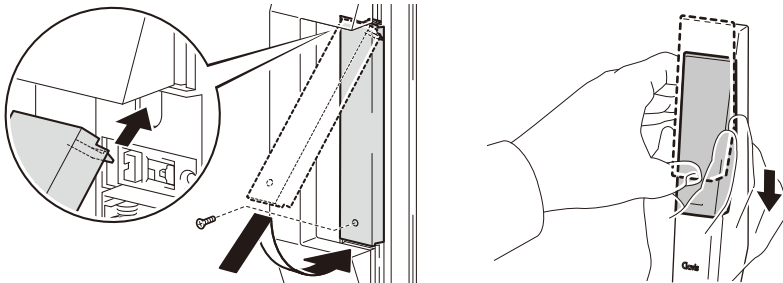
(Tebra キー：33 ページ、TL キー：34 ページ、FACE キー：32, 35 ページ)

確認する認証キー以外は作動範囲内（リーダ部から 2m 以内）に置かないでください。作動範囲内に複数の認証キーがある場合、確実な登録確認が行えません。

※ダブル認証を設定した場合は、正しく設定されているかを確認するために、カメラ部を手で遮りながら認証作業を行ってください。正しく設定されていれば、施解錠されません。

3 ハンドルカバー、カメラ部カバーを元に戻します。

- ・ ハンドルカバー上部のツメを差し込み、浮いている側を本体にはめこみ、ねじを締めこみます。
- ・ カメラ部カバー下部のツメを差し込み、本体にはめこみます。



■ Tebra / TL キー・FACE キー登録時のリーダー部とブザーの報知情報

Tebra / TL キーの登録の場合

作動状況		リーダーランプ	ブザー
登録・抹消モード中		赤色点滅	—
Tebraキー ハンズフリー登録時	1個	最初のブザー後	ピッ…ピッ
	2個		ピッ…ピピッ
	3個		ピッ…ピピピッ
	4個		ピッ…ピピピピッ
	5個		ピッ…ピー
	6個		ピッ…ピーピッ
	7個		ピッ…ピーピピッ
	8個		ピッ…ピーピピピッ
Tebra/TLキー内蔵 のICチップ登録時	1個	緑色点灯 (1.5 秒)	ピピッ…ピッ
	2個		ピピッ…ピピッ
	3個		ピピッ…ピピピッ
	4個		ピピッ…ピピピピッ
	5個		ピピッ…ピー
	6個		ピピッ…ピーピッ
	7個		ピピッ…ピーピピッ
	8個		ピピッ…ピーピピピッ
認証異常		赤色点滅 (3 回)	ピー
登録件数エラー (8個登録済み)		赤色・緑色が交互に点滅 (3 回)	ピー

※異常、エラー時の対処は 30 ページを参照ください。

FACE キーの場合

●カメラ部のランプをご確認ください。

作動状況		カメラ部ランプ	ブザー
顔撮影	成功時	青色・赤色点灯後、青色点滅	ピッ
顔撮影	登録失敗時	赤色点滅 (3回)	ピー
認証キー 登録時	1個	赤色点滅 (3回)	ピピピッ…ピッ
	2個		ピピピッ…ピピッ
	3個		ピピピッ…ピピピッ
	4個		ピピピッ…ピピピピッ
	5個		ピピピッ…ピー
	6個		ピピピッ…ピーピッ
	7個		ピピピッ…ピーピピッ
	8個		ピピピッ…ピーピピピッ
	9個		ピピピッ…ピーピピピピッ
	10個		ピピピッ…ピーピー
	11個		ピピピッ…ピーピーピッ
	12個		ピピピッ…ピーピーピピッ
	13個		ピピピッ…ピーピーピピピッ
	14個		ピピピッ…ピーピーピピピピッ
	15個		ピピピッ…ピーピーピー
	16個		ピピピッ…ピーピーピーピッ

※異常、エラー時の対処は 30 ページを参照ください。

■登録時のエラー内容と対処方法

●登録時にエラーが報知が出た際は、下表を参考にして登録作業を行ってください。

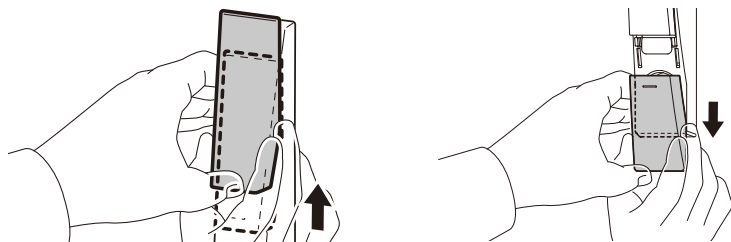
作動状況	リーダー部 ランプ	カメラ部 ランプ	ブザー音	エラー内容	対処方法
登録時	赤色点滅 (3回)	-	ピー	Tebra/TLキーの ICチップ認証 異常	ICチップを2秒以上かざせていない。2秒以上かざして認証し直してください。
					Tebra/TLキーを「Clavis」マークから1cm以上離してしまっている。1cm以内で認証し直してください。
				Tebraキーの 認証異常	認証するTebraキーの電池が切れている可能性があります。Tebraキーの電池交換をしてください。
					ハンズフリー登録時、操作ボタンを2秒以上押し続けず終了してしまった。2秒以上押し続けて認証し直してください。
					登録完了を知らせるブザーが鳴る前に登録検知範囲(80cm)から離れてしまった。ブザーが鳴るまで登録検知範囲内で認証し直してください。
				FACEキーの 認証異常	Tebra/TLキーをかざしていない。 Tebra/TLキーをかざして登録ください。
		ブザーが鳴る前にTebra/TLキーを離してしまう。 ブザーが鳴るまで離さないでください。			
		Tebra/TLキーを「Clavis」マークから1cm以上離してしまっている。1cm以内で認証し直してください。			
		Tebraキーにおいて、ハンズフリー登録のみしているためFACEキーが登録できない。ICチップの登録を行った後にFACEキーを登録ください。			
	-	赤色点滅 (3回)	ピー	顔撮影が 上手くできない	ブザーが鳴る前にカメラの前から離れてしまう。 ブザーが鳴るまでカメラの前から離れないでください。
					カメラレンズの汚れが無いかをご確認ください。
					マスクやサングラスなどで顔が隠れていないかをご確認ください。
眉毛が髪で隠れていないかをご確認ください。					
逆光により顔を認証できない場合があります。 カメラ部を手で覆うなどして逆光を避けてください。					
顔認証範囲が合っていない。 50cm程度離れた位置で撮影ください。					
ランプが青く光る前にカメラから離れてしまっている。 ランプが青く光るまで離れないでください。					
赤色・緑色が 交互に点滅 (3回)	-	ピー	登録件数エラー	Tebra/TLキーのICチップ登録数が8個登録済み。 認証キーの抹消を行ってから登録ください。	
				Tebraキーのハンズフリー登録数が8個登録済み。 認証キーの抹消を行ってから登録ください。	

手動による施解錠方法

室外側からの施解錠方法

1 ハンドルのシリンダーカバー上下を外します。

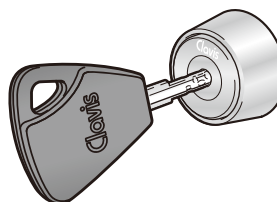
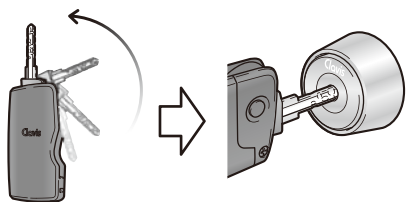
シリンダーカバー上は、カバーを上押し上げるようにスライドして外します。
シリンダーカバー下は、カバーを下に押し下げるようにスライドして外します。



2 手動キーをシリンダーに差し込み施解錠します。

室外側 (Tebra キー)

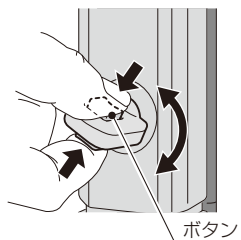
室外側 (TL キー)



室内側からの施解錠方法

1 ハンドルのシリンダーカバー上下を外します。

セキュリティサムターンのため、ツマミのボタンを押しながら回してください。

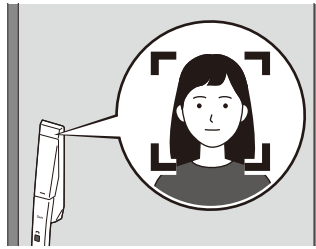


FACE キーによる施錠／解錠

ダブル認証

1 カメラに顔と視線を向けてください。

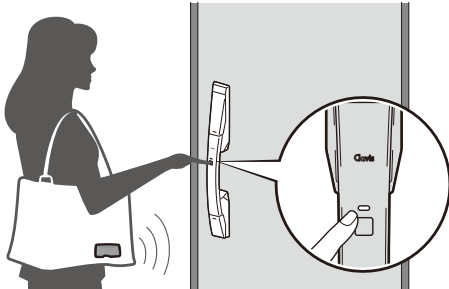
※顔と視線を向けただけでは認証は始まりません。必ず2の操作を行ってください。



2 認証キーで認証します。

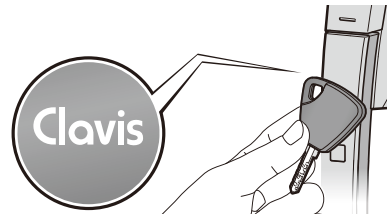
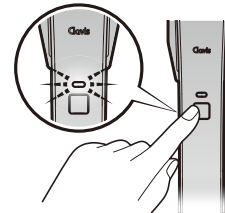
Tebra キーをお持ちの場合

カメラに顔と視線を向けて、Tebra キーを持ったままリーダ部の認証範囲内に入り、タッチボタンを押します。



TL キーをお持ちの場合

カメラに顔と視線を向けて、リーダ部のタッチボタンを押し、TL キーの認証範囲とリーダ部の「Clavis」マークを目安に合わせてかざします。



3 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで作動状況をお知らせします。

作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯 (2回)	ピピッ
施錠	緑色点灯 (2回)	ピッ
顔認証未認証 (認証キーが近くにない)	赤色点滅 (3回)	—
顔認証未登録	赤色点滅 (3回)	ピーピー
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4秒)	ピー—— (3秒)

- 施錠／解錠異常のときは、再度、操作をやり直してください。
- 上下どちらかが施錠しているときは、カメラに顔と視線を向けてタッチボタンを押し、認証キーで認証すると解錠します。
- 12 ページに記載している内容に注意して認証開始してください。
- 施解錠にあたりエラーが報知が出た際は、36 ページの表を参照ください。

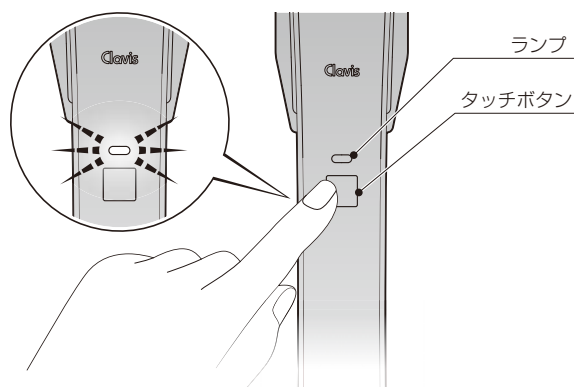
Tebra キーによる施錠／解錠

シングル認証

Tebraキーを使用することによりハンズフリー操作による施解錠が可能です。(9ページ)

❶ Tebra キーを持ったままリーダ部の作動範囲内に入ります。(9 ページ)

❷ リーダ部のタッチボタンを押します。



❸ 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで作動状況をお知らせします。

作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯 (1.5秒)	ピピッ
解錠 (Tebraキー電池少)	赤色点灯 (1.5秒) 後 橙色点灯 (3回) 後、赤色と橙色の交互点灯	ピピッ… ピーピー
施錠	緑色点灯 (1.5秒)	ピッ
施錠 (Tebraキー電池少)	緑色点灯 (1.5秒) 後 橙色点灯 (3回) 後、赤色と橙色の交互点灯	ピッ… ピーピー
Tebraキー 未認証 (認証キーが近くにない)	赤色点滅 (3回)	—
Tebraキー 未登録	赤色点滅 (3回)	ピーピー
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4秒)	ピー—— (3秒)

- 施錠／解錠異常のときは、再度、操作をやり直してください。
- 上下どちらかが施錠しているときは、タッチボタンを押すと解錠します。
- Tebra キーもチップを内蔵しているため、電池切れ時は TL キーと同様の操作が可能です。
- 施解錠にあたりエラーが報知が出た際は、36 ページの対処法を参照ください。

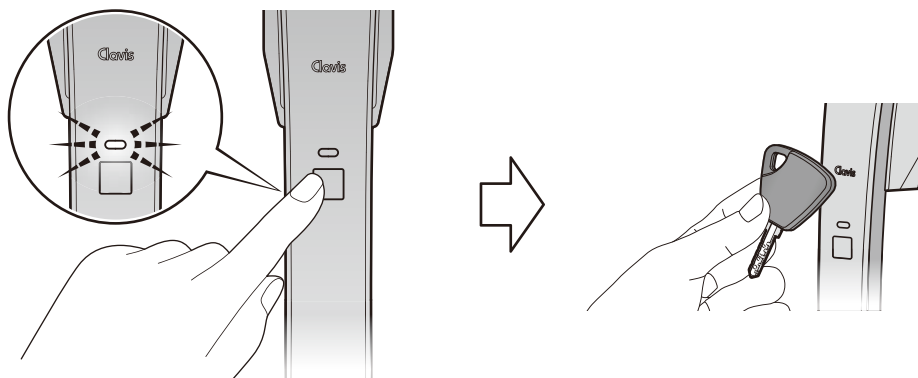
TL キーによる施錠／解錠

シングル認証

TLキーを使用することによりキーをかざす操作による施解錠が可能です。(10ページ)

❶リーダ部のタッチボタンを押し、TL キーの認証範囲とリーダ部の「Clavis」マークを目安に合わせてかざします。

位置がずれ過ぎると認証されず、施錠／解錠ができません。
認証時、キーをリーダ部へ押し当てないでください。
摩擦によりリーダ部に傷や擦れが発生する場合があります。



❷施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで作動状況をお知らせします。

作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯 (1.5秒)	ピピッ
施錠	緑色点灯 (1.5秒)	ピッ
TLキー未認証 (認証キーが近くにない)	赤色点滅 (3回)	—
TLキー未登録	赤色点滅 (3回)	ピーピー
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4秒)	ピー—— (3秒)

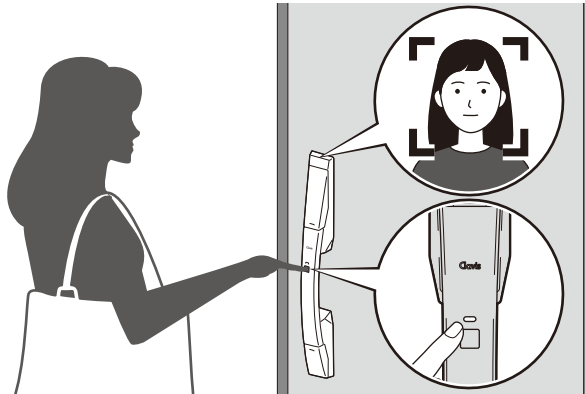
- 施錠／解錠異常のときは、再度、操作をやり直してください。
- 認証異常のときは、一度 TL キーをリーダ部の「Clavis」マークから離し、再度 TL キーをリーダ部の「Clavis」マークにかざしてください。
- 上下どちらかが施錠しているときは、タッチボタンを押し、TL キーをリーダ部の「Clavis」マークにかざすと解錠します。
- 施解錠にあたりエラーが報知が出た際は、36 ページの対処法を参照ください。

FACE キーによる施錠／解錠

シングル認証

FACEキーを使用することにより、顔認証による施解錠が可能です。(11ページ)

❶リーダ部のタッチボタンを押し、カメラに顔と視線を向けてください。



❷施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで作動状況をお知らせします。

作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯（1.5秒）	ピピッ
施錠	緑色点灯（1.5秒）	ピッ
顔認証未認証	赤色点滅（3回）	—
顔認証未登録	赤色点滅（3回）	ピーピー
施錠／解錠異常	赤色点灯（4秒）	ピー——

- 施錠／解錠異常のときは、再度、操作をやり直してください。
- 上下どちらかが施錠しているときは、カメラに顔と視線を向けてタッチボタンを押すと解錠します。
- 12ページに記載している内容に注意して認証開始してください。
- 施解錠にあたりエラーが報知が出た際は、36ページの対処法を参照ください。

認証時のエラー内容と対処方法

●認証時にエラーが報知が出た際は、下表を参考にして認証作業を行ってください。

作動状況	リーダー部ランプ	カメラ部ランプ	ブザー音	エラー内容	対処方法
認証時	赤色点滅 (3回)	—	—	認証しようとするTebra/TLキーが見つからない	認証するTebra/TLキーが無い状態なので、認証するTebra/TLキーを準備ください。 上手くICチップをかざせていない。各キーの非接触認証範囲を取扱い説明書でご確認いただき、ハンドルClavisマークにかざしてください。
				認証しようとするTebraキーが見つからない	認証するTebraキーが無い状態なので、認証するTebraキーを準備いただき、ICチップの登録後にハンズフリーの登録作業を行ってください。 認証するTebraキーの電池が切れている可能性があります。Tebraキーの電池交換をしてください。 認証するTebraキーがスリープモードに入っている可能性があります。Tebraキーを振ってから認証作業を行ってください。 登録完了を知らせるブザーが鳴る前に登録検知範囲(80cm)から離れてしまった。ブザーが鳴るまで登録検知範囲内で認証し直してください。
				認証しようとするFACEキーが見つからない	認証するFACEキーが無い状態なので、認証するFACEキーを準備ください。 カメラレンズの汚れが無いかをご確認ください。 マスクやサングラスなどで顔が隠れていないかをご確認ください。 眉毛が髪で隠れていないかをご確認ください。 双子の場合で認証方法を混在させた事で認証しづらい場合があります。認証方法を合わせてください。 逆光により顔を認証できない場合があります。逆光を避けてください。 顔認証範囲が合っていない。50cm程度離れた位置で認証ください。
				認証しようとしたTebra/TLキーのICチップが登録されていない	Tebra/TLキーのICチップの登録作業を行ってください。もしくは登録済みのTebra/TLキーにて施錠動作を行ってください。
				認証しようとしたTebraキーが登録されていない	Tebraキーのハンズフリー登録作業を行ってください。もしくは登録済みのTebraキーにて施錠動作を行ってください。
				認証しようとしたFACEキーが登録されていない	FACEキーの登録作業を行ってください。もしくは登録済みのFACEキーにて施錠動作を行ってください。 成長によって認証できない場合があります。適時、顔の再登録を行ってください。 カメラに複数人映り込んでいる可能性があります。複数人映り込まないようにしてください。
	赤色点灯 (4秒)	—	—	施錠できない状態	再度、操作をやり直してください。
					扉が閉まりきっているかをご確認ください。
					ストライクにゴミなど詰まっていないかをご確認ください。 経年劣化による扉の垂れ下がりなど施工面で問題無いかをご確認ください。
				解錠できない状態	再度操作をやり直してください。
					室内外の圧力差により作動が重い(できない)。換気口を開けてください。
					ストライクにゴミなど詰まっていないかをご確認ください。

操作電源盤操作による施錠／解錠

ドアから離れた居住空間から、来客対応のドアの施錠／解錠操作や、ドアの状態を確認することができます。

操作電源盤での施錠／解錠

施錠

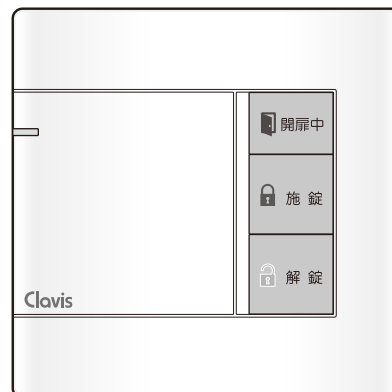
操作電源盤の「 施錠」ボタンを押すと、施錠されます。

施錠時はすべてのランプが消灯します。

解錠

操作電源盤の「 解錠」ボタンを押すと、解錠されます。

● 解錠中、「 解錠」ランプ（橙色）が点灯し続けます。



ドアの状態確認

以下のランプの点灯／点滅で、ドアの状態についてお知らせします。

● ドアを閉め、施錠すると消灯します。

状況	連続ランプ
解錠	「  解錠」（橙色）が点灯
片側施錠	「  解錠」（橙色）が点滅
施錠	全ランプ消灯
ドア開（解錠）	「  開扉中」（橙色）と「  解錠」（橙色）が同時に点灯
ドア開（施錠）	「  開扉中」（橙色）と「  解錠」（橙色）が交互に点滅

機能の設定変更方法

本製品の操作電源盤から、機能の設定を変更することができます。

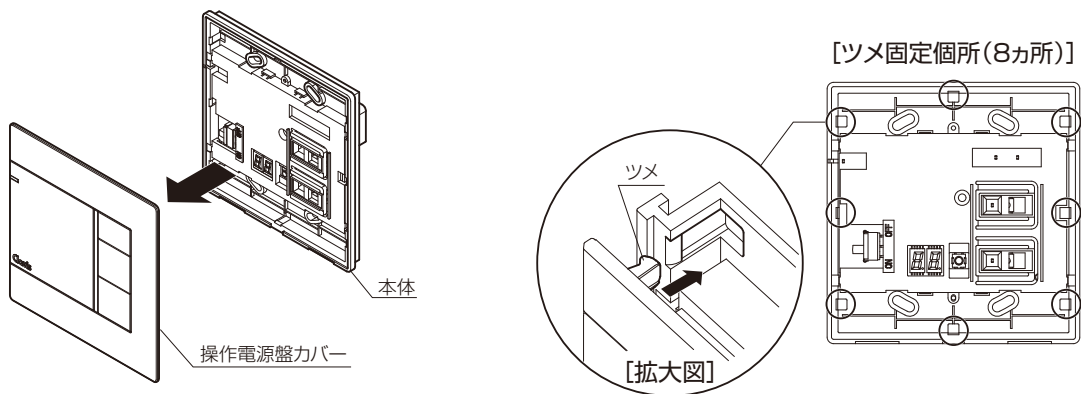
※設定変更が可能な機能の紹介については 14 ページ～ 16 ページを参照ください。

■お願い

- 設定方法を十分に確認した上で変更操作を行ってください。設定変更を誤ると意図しない動作が発生する原因となります。
- 設定変更可能な項目は”設定項目表”の1、3、5、6、7のみとなります。また、それ以外の項目は変更せず出荷状態の設定を必ず維持してください。機能がうまく作動しない原因となります。

設定方法

1 操作電源盤のカバーを外してください。(カバーと本体の間にコインなどをひっかけて外します)



2 設定スイッチを 3 秒以上長押ししてください。設定モードに入り、7 セグ表示の L 表示に “H” が点灯されます。

※ R 表示はキーの登録数により異なります。

3 7 セグ表示点灯中に下記操作を行ってください。

3-1 施錠ボタンを押し、L 表示の値を切り替えます。

施錠ボタンを押すたびに、L 表示の値が下記の様に切り替わります。

H → I → F → 1 → 2 → … → 9 → A → C → E → J → … と繰り返されます。

変更する項目に合わせて切り替えてください。(39 ページの “設定項目表” を参照ください。)

3-2 **3-1** で L 表示を切り替えたら解錠ボタンを押してください。R 表示の値を切り替えます。

解錠ボタンを押すたびに、R 表示の値が下記の様に切り替わります。

(最初に表示される数値は前回設定した値からとなります。)

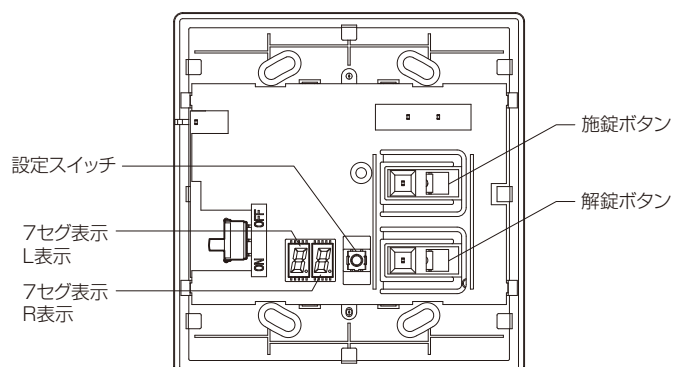
1 → 2 → 3 → 0 → 1 → 2 … の様に繰り返されます。

変更する項目に合わせて切り替えてください。(39 ページの “設定項目表” を参照ください。)


4 設定スイッチを押し、設定モードを終了してください。7 セグ表示が消灯されます。

5 操作電源盤のカバーを取付け、設定完了です。

※ 15 秒以上操作が無い場合 7 セグ表示が消灯し、設定変更モードは終了しますが、このときの設定変更は保存されません。もう一度 **2** の作業からやり直してください。



設定項目表

下表の網掛け  部は設定変更せずに、必ず出荷状態の設定を必ず維持してください。
機能がうまく作動しない原因となります。

※各設定項目の詳細については、40 ページを参照ください。

40 ページに記載の内容を十分に確認した上で変更操作を行ってください。

L表示	設定項目	R表示 設定状態				R表示初期設定
		0	1	2	3	
H	ID登録数確認(Tebraキー)	登録個数(0~8)				-
I	ID登録数確認(TLキー)	C				-
-		登録個数(0~8) ※警備キーは含まない				
F	登録本数・表示終了	F				-
1	自動施錠機能	OFF	ON	-	-	0
2	警備セット	OFF	ON(電源盤、 手動解除なし)	ON(電源盤、 手動解除あり)	-	0
3	ブザー鳴動	通常鳴動	施錠時OFF	-	-	0
4	JEM-A 1ch 接続タイプ	JEM-A機能停止	解錠のみ	施錠のみ	施解錠	3
5	閉め忘れ防止機能	ON	OFF	-	-	0
6	連動施錠/解錠アシスト機能	ON/OFF	OFF/OFF	ON/ON	OFF/ON	3
7	リモコン機能	リモコン無効	リモコン有効	-	-	0
8	操作電源盤/電源盤	操作電源盤	電源盤	-	-	0
9	JEM-A 2ch 接続タイプ	JEM-A機能停止	解錠のみ	施錠のみ	施解錠	3
A	警備機能	ループチェック OFF	ループチェック ON	-	-	0
C	キャンセル機能	OFF	ON	-	-	1
E	トランクモード	OFF	ON	-	-	0
J	ロック数	2 ロック	1 ロック	-	-	0

【設定変更可能な項目】

- 1：自動施錠機能
自動施錠機能のON/OFFを切り替えできます。(15ページ)
- 3：ブザー鳴動
ブザー音のON/OFFを設定できます。
- 5：閉め忘れ防止機能
閉め忘れ防止機能のON/OFFを切り替えできます。(16ページ)
- 6：連動施錠/解錠アシスト機能
連動施錠/解錠アシスト機能のON/OFFを切り替えできます。(14ページ)
- 7：リモコン機能
Tebraキーの登録ボタンによる施錠機能のON/OFFを設定できます。

【設定を維持していただきたい項目】

出荷状態の設定を必ず維持してください。機能がうまく作動しない原因となります。

- H：設定変更可能な項目ではありません。表示のみとなります。
- I：設定変更可能な項目ではありません。表示のみとなります。
- F：設定変更可能な項目ではありません。表示のみとなります。
- 2：警備セット
警備連動の機能のON/OFFです。本製品では使用しないため必ず初期出荷状態の設定を維持してください。
設定を変更すると、予期せぬ動作をする可能性があります。
- 4：JEM-A 1ch 接続タイプ
JEM-A機器と連携するための機能です。必ず初期出荷状態の設定を維持してください。
設定を変更すると、連携機器による施解錠操作ができなくなる場合がございます。
- 8：操作電源盤/電源盤
使用する機器(操作電源盤/電源盤)を選択する項目です。必ず初期出荷状態の設定を維持してください。
操作電源盤の機能(例：施解錠)が使用できなくなる場合がございます。
- 9：JEM-A 2ch 接続タイプ
JEM-A機器と連携するための機能です。必ず初期出荷状態の設定を維持してください。
設定を変更すると、連携機器による施解錠操作ができなくなる場合がございます。
- A：警備機能
警備連動に関わる機能のON/OFFです。本製品では使用しないため必ず初期出荷状態の設定を維持してください。
設定を変更すると、予期せぬ動作をする可能性があります。
- C：キャンセル機能
P.9に記載の機能のON/OFFです。必ず初期出荷状態の設定を維持してください。
設定をOFFにすると、室内側にあるTebraキーに反応し施解錠する可能性があります。
- E：トランクモード
特定仕様の機能のON/OFFです。本製品では使用しないため必ず必ず初期出荷状態の設定を維持してください。
設定を変更すると、予期せぬ動作をする可能性があります。
- J：ロック数
電動施解錠させる錠の数を選択する項目です。2ロック施解錠専用商品のため必ず初期出荷状態の設定を維持してください。
設定を変更すると、施解錠が正常に働かなくなる場合がございます。

認証キーの抹消方法

認証キー情報 / FACE キー情報の抹消

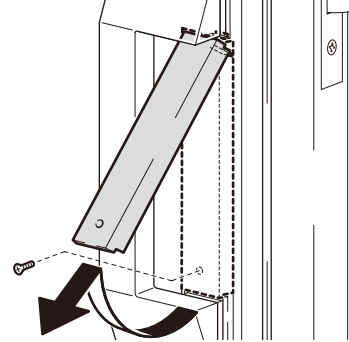
1 以下の物をお手元にご用意ください。

認証キーの抹消後、速やかに再登録を行うため必要になります。

- 今までお使いの認証キー
- 新規で登録したい認証キー

2 室内側からハンドルカバーを取外します。

ねじを取外し、カバー下部を手前にずらします。
※ねじを紛失しないように保管してください。

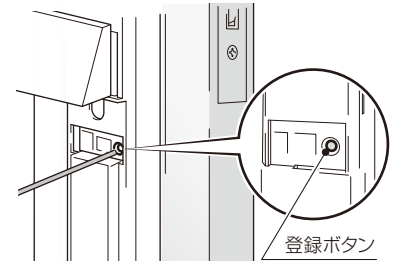


3 ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。

※ロックを解錠していない状態では、登録作業は行えません。

4 制御部の登録ボタンを2秒以上押し続け、登録・抹消モードにします。

- 先のとがっていない細いものでやさしく押しください。
- 登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。登録・抹消ができない可能性があります。
- 登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。

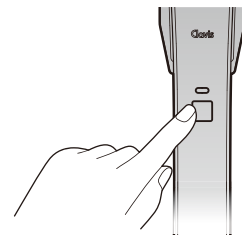


作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
登録・抹消モード開始	緑色点灯 (0.3秒)	ピッ
登録・抹消モード中	赤色点滅	—

5 リーダ部のタッチボタンを2秒以上、押し続けます。

“ピッ・ピピッ” とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。
すべての情報が抹消されます。(ブザーが鳴る前にボタン操作を中断すると、情報が抹消されません)

※ FACE キー情報も抹消されます。



作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
認証全消去	緑色点灯 (1.5秒)	ピッ・ピピッ

6 制御部の登録ボタンを押し、登録・抹消モードを終了します。

- ・ “ピッ” とブザーが鳴り、登録・抹消モードが終了します。
- ・ 15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に登録・抹消モードが終了します。

● 抹消された認証キーは、そのままでは使用できません。

すぐに再登録を行ってください。(17～30 ページ)

※ FACE キー情報も再登録が必要です。

作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
登録・抹消モード終了	—	ピッ

Tebra キーの電池交換／カラーチップの取付け

電池交換のタイミング

Tebra キーの電池残量が少なくなると、以下のように動作確認ランプでお知らせします。動作確認ランプが点灯したら、電池を交換してください。電池残量無の場合、ハンズフリー認証はできませんが、内蔵されている IC チップで非接触認証ができます。

	作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
リーダ部	解錠 (Tebraキー電池少)	赤色点灯 (1.5 秒) 後 橙色点灯 (3 回) 後、赤色と橙色の交互点灯	ピピッ… ピーピー
	施錠 (Tebraキー電池少)	緑色点灯 (1.5 秒) 後 橙色点灯 (3 回) 後、赤色と橙色の交互点灯	ピッ… ピーピー
Tebraキー	施錠／解錠 (Tebraキー電池少)	Tebraキーの動作確認ランプが 赤色点灯 (0.5 秒)	—
	施錠／解錠 (Tebraキー電池残量無)	Tebraキーの動作確認ランプは 点灯しません。	—

電池交換後は、電池切れ警告が現れないことを確認してください。

警告

- 電池および取外した部品をお子さまに触らせたり、お子さまが飲み込んだりしないよう、十分注意してください。電池を飲み込んだ場合は直ちに取出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し、指示を受けてください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合は死に至るおそれがあります。

お願い

- ご入居の際に渡された Tebra キーに内蔵されている電池は、動作確認用の電池です。はじめてお使いになる前に電池交換されることをおすすめします。
- 指定の電池（リチウムコイン電池 CR2032）をご使用ください。
- Tebra キーの電池寿命は約 2 年間（10 回／日）ですが、電池切れにならなくても 1 年ごとに新しい電池と交換してください。電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- Tebra キーは常時電波を受信しているので、全く使用しない場合でも電池を消耗します。また、強い電波を受信し続けた場合に電池を著しく消耗することがありますので、テレビ・パソコンなどの家電製品の近くに長時間放置しないでください。
- 電池交換する際は、一度ドアノブなどの金属物を触って静電気を逃がしてから行ってください。また、セーターなど静電気がたまりやすい衣類を着たまま行わないでください。静電気を体内に帯電させた状態で電池交換を行うと、Tebra キーの部品が故障する原因になります。
- 電池交換は電子部品保護のため、濡れた手、汚れた手で行わず、必ず次ページの方法にしたがって行ってください。

電池交換

使用電池：コイン型リチウム電池 CR2032

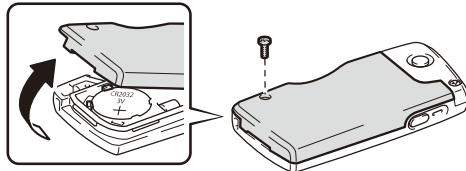
電池はカメラ店、家電販売店などでお買い求めになれます。

取外した部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

1一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。

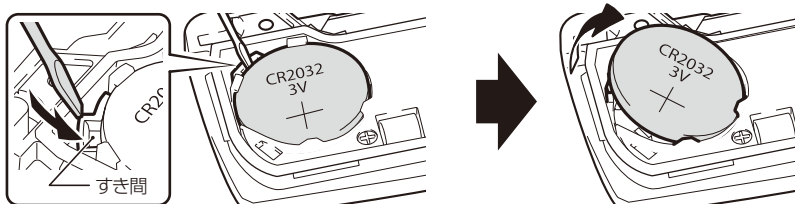
2プラスドライバーで裏面のねじを外し、カバーを取外します。

プラスドライバーは0番をお使いください。ホームセンターなどでお買い求めになれます。



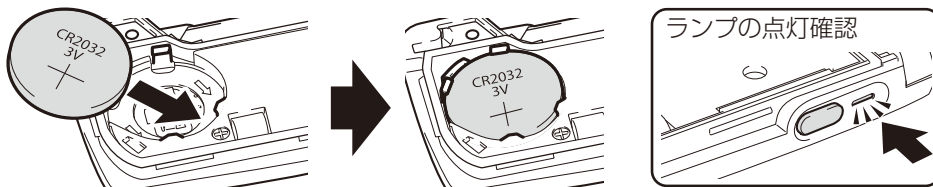
コインなどを差し込み取外す

3マイナスドライバーをすき間に差し込み、起こすようにして古い電池を取外します。



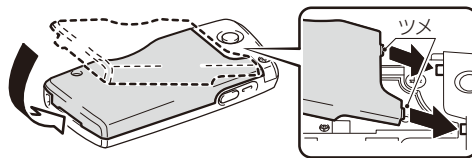
4新しい電池を差し入れ、電気施解錠をおこない、作動確認をしてください。

(+) が上になるように取付けます。



ランプの点灯確認

5カバーを元に戻し、ねじを締め込みます。



ツメを差し込み、浮いている側をキー本体に「パチン」と音がするまではめ込む

カラーチップの取付け

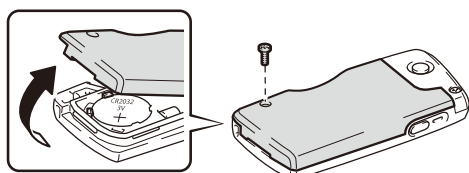
キーの判別のため、購入した際に付属のカラーチップを取付けてください。
(Tebra キーのみ)

取外した部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

1一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。

2プラスドライバーで裏面のねじを外し、カバーを取外します。

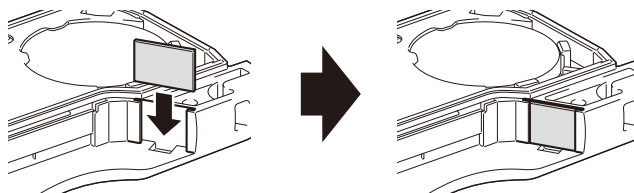
プラスドライバーは0番をお使いください。ホームセンターなどでお買い求めになれます。



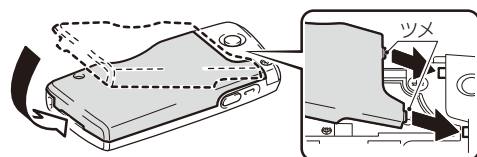
コインなどを差し込み取外す

3好きな色の付属のカラーチップを台紙から取外し、スライドしてはめ込みます。

カラーチップの印刷面をこすると、印刷がはがれるおそれがあります。ご注意ください。



4カバーを元に戻し、ねじを締め込みます。



ツメを差し込み、浮いている側をキー本体に「パチン」と音がするまではめ込む

故障かな?と思ったら

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、お客様相談センターにご連絡ください。



電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

<https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm>

全体項目

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
リーダー部のタッチボタンを押しても作動せず、ランプが点灯しない。	電源スイッチがOFFになっている。	電源スイッチをONにしてください。	8
	停電などによりシステムに電源が供給されていない。	ブレーカーが落ちていないか確認してください。他の電気機器などの作動も確認してください。	—
施錠／解錠ができない。	ドアが完全に閉まりきっていない。	ドアを閉めてください。	—
	室内換気を行っているため、室内外の圧力差によって鎌がストライクに強当たりしている。	換気扇を切る、または換気口を開けてください。	—
施錠／解錠時、リーダー部のランプが赤色点灯(4秒)し、“ピー”とブザー(3秒)が鳴り続けた。	ドアの施錠／解錠異常です。	ドアがしっかり閉まっていることを確認し、再度認証キーを使用し、施錠／解錠確認をしてください。 (サムターンを使用しても施錠／解錠できない場合は、ドア全体の調整が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社、施工業者または建具メーカーに連絡してください)	—
連動施錠されない。	停電または下側のロックを手動施錠した。	停電時以外は認証キーで施錠するか、上側のロックを手動施錠してください。 (停電時は連動施錠されません)	14

Tebra キー

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
リーダ部のタッチボタンを押しても作動しない。	Tebraキーが作動範囲にない。	Tebraキーを持っているか確認してください。	9
	Tebraキーに電池が入っていない。	電池を入れてください。 (コイン型リチウム電池CR2032)	42
	Tebraキーが6秒以上、静止している。	Tebraキーを揺らしながら操作してください。	7
	Tebraキーの電池残量が少ない。 (電池残量が少ないときは、動作確認ランプでお知らせします)	新しい電池に交換してください。 (コイン型リチウム電池CR2032)	42
		TLキー操作で施錠／解錠してください。	34
		手動キーで施錠／解錠してください。	31
	複数のTebraキーを作動範囲内で同時に使用している。	Tebraキーは1つだけ使用してください。	—
	Tebraキーが登録されていない。	Tebraキーを登録してください。 (ID情報を抹消した場合、すべてのTebraキーの再登録が必要です)	17
玄関ドア周辺の電波環境	Tebraキーを携帯電話などと一緒に携帯していないか確認してください。また、金属製のものに覆われていないか確認してください。	—	
Tebraキーの抹消・再登録ができない。	登録・抹消モードになっていない。	登録・抹消モードにしてください。	41
Tebraキーが登録ができない。	リーダ部の登録検知範囲内でTebraキーの操作ボタンを2秒以上、押し続けている。	リーダ部の登録検知範囲内で“ピッ…ピッ”とブザーが鳴るまで登録ボタンを押し続けてください。	23
	最大登録数(8個)を超えている。	—	—
タッチ操作による施錠／解錠ができない。	ICチップの登録がされていない。	ICチップの登録をしてください。	23
タッチ操作による作動確認ができない。	先にハンズフリー登録をしている。	ハンズフリー登録の前にICチップの登録・作動確認をしてください。	23

TL キー

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
施錠／解錠ができない。	TLキーをリーダ部に正しくかざしていない。	TLキーの認証範囲とリーダ部の「 Clovis 」マークを目安に合わせてかざします。	34
	複数の認証キーを同時に使用している。	認証キーは1つだけ使用してください。	—
	TLキーが登録されていない。	TLキーを登録してください。 (ID情報を抹消した場合、すべてのTLキーの再登録が必要です)	17
TLキーの抹消・再登録ができない。	登録・抹消モードになっていない。	登録・抹消モードにしてください。	41
TLキーの登録ができない。	リーダ部の「 Clovis 」マークに、TLキーを2秒以上、かざし続けている。(約1cm以内)	“ピピッ…***”とブザーが鳴るまでTLキーをかざし続けてください。	23

FACE キー

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
施錠／解錠ができない。	認証範囲(約50cm)に入っていない。	認証範囲内に入ってください。	11
	サングラス・マスクなどを装着している。	顔を覆い隠すようなものは装着しないでご使用ください。	12
	カメラ部が汚れている。	カメラ部を柔らかい布でから拭きしてください。	—
	顔の変化。 (子供の成長など)	顔登録の更新を行ってください。	20、27
FACEキーの登録ができない。	顔撮影完了前に顔を背けている。	“ピッ”とブザーが鳴るまでカメラに顔と視線を向けてください。	20、27
	TLキーまたはTebraキーをかざしていない。	顔撮影完了後、登録済みのTLキーまたはTebraキーをかざしてください。	20、27
	TLキーまたはTebraキーを登録していない。	TLキーまたはTebraキーを登録してください。 (ID情報を抹消した場合、すべてのTebraキーまたはTLキーの再登録が必要です)	18、25
ダブル認証の登録ができない。	顔撮影完了後、タッチボタンを押していない。	顔撮影完了後、Tebraキー／TLキーをかざす前にタッチボタンを押してください。 (押さずにかざした場合、シングル認証での登録になります)	20

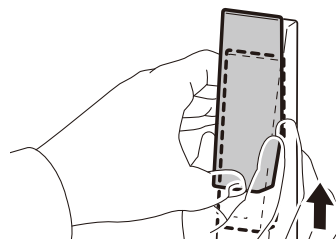
認証キー共通

状態	考えられる原因	処置	参照 ページ
認証キーの登録ができない。	最大登録数(Tebraキー、TLキーそれぞれ8個)を超えている。	—	—
施錠／解錠ができない。	登録・抹消モードになっている。	登録・抹消モードを終了してください。	—

停電で作動しない場合

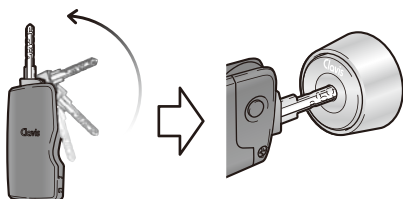
停電やブレーカーを落とした場合など、電源供給が停止すると、作動できません。
その場合、手動で施錠／解錠してください。

室外側はシリンダーカバーを外してから施錠／解錠します。



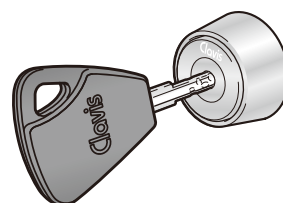
室外側（Tebra キー）

Tebra キーの手動キーをシリンダーに差し込みます。



室外側（TL キー）

キーをシリンダーに差し込みます。



認証キーを紛失した場合

対処のしかた

■お願い

認証キーを紛失された場合は、以下の対応を行ってください。

- 認証キー情報の抹消（41 ページ）
- シリンダーの交換※
- 新しい認証キーの再登録（17 ページ）

※ 認証キーを無くされた場合、セキュリティ上シリンダーごと交換となります。

キーの追加購入、シリンダーの交換について

取扱い説明書同梱のスペアキー依頼書に必要なキー / シリンダーを記入の上、サービス代行店までお問合せください。
依頼時ユーザーカードが必要になりますので必ず保管してください。

盗難・悪用防止のために

- 施錠忘れによる盗難を防ぐため、施錠の確認は必ず行ってください。
- 認証キーまたはキーには、使用場所が分かる表示は付けしないでください。紛失したときに悪用されるおそれがあります。
- 普段お使いにならない認証キーまたはキーは、使用時以外、大切に保管してください。
- ユーザーカードは大切に保管してください。紛失した場合スペーキーを依頼できなくなります。

お手入れ方法

長期間、清掃しないままにしておくと、表面に付着した汚れはシミや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

- 清掃は少なくとも月に1～2回程度、実施してください。
- 特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

お手入れ方法

製品の損傷、サビ、腐食、変色、カメラ部に汚れが付着して、顔認証ができなくなることを防止するため、次の方法で実施してください。

1 柔らかい布でやさしくから拭きしてください。

強くこすらないでください。

2 落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を薄めた液を柔らかい布またはスポンジに染み込ませてからよく絞って拭き取ってください。

- 洗剤の成分が残らないよう、十分に拭き取ってください。
- 中性洗剤の液や水が製品にかからないようご注意ください。
- サンドペーパー、堅いブラシ、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。



3 キーの抜き差しや回転操作が悪くなったときは、柔らかい芯の鉛筆（B～4B）の粉や黒鉛粉、またはシリンダー専用の潤滑剤（粉末タイプ、シリコーンを含まないタイプ）を使用してください。

- 鉛筆を使用する場合は、キーの切り込み面を鉛筆でなぞった後、キーで抜き差しを数回行ってください。
- 鍵穴には絶対に油を差さないでください。注入直後は操作が良好でもホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。
- シリコーンを含む潤滑剤を使用しないでください。故障の原因となります。

商品仕様

■ リーダ本体仕様

送信周波数	Tebraキー	125.0kHz
	TLキー	13.56MHz
登録可能 ID キー数		最大16個※
顔認証	登録人数	最大16人
	同時認証人数	1人

※：ただしTebraキー/TLキーは、それぞれ最大8個までです。

■ Tebraキーの仕様

使用電池	DC3V リチウムコイン電池 CR2032 1個
送信周波数	315MHz
動作電流	最大14mA
電池寿命	約2年（10回/日）

■ 交信性能

ハンズフリー交信範囲	約80cm
非接触交信範囲	約1cm

■ 使用環境

使用温度範囲	-10℃~50℃
使用湿度範囲	30~90% RH（結露/氷結無きこと）

アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。）の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。電装系部品については製造打ち切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後2年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL 公式通販サイトよりご注文いただけます。
●リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客様さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ **対象商品** サッシ・ドア商品

■ **保証期間** 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

*ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ **保証内容** 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ **免責事項** 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ① 当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
- ② お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
- ③ 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤ 商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑥ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦ 商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑧ 天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨ 施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪ 引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫ お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

MEMO

MEMO

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAP-972 | 事業所コード AZF8 | 2024.6.3発行

